

地域連携ハンドブック

2024年度



目 次

■ はじめに

はじめに	1
石巻専修大学の組織図	1
石巻専修大学のあゆみ	2
公的機関等との連携	2

■ センター紹介

大学開放センター長あいさつ	3
共創研究センター長あいさつ	3
大学開放センター・共創研究センターの役割	4
大学開放センター	5
共創研究センター	6

■ 地域教育

未来の学び	
こどもたちの「学ぶ」力を育てる取組	7
好奇心・探究心を深める「大学見学会」	9
高校生の探究学習サポート	11
大学の多様な学びを提供「出前授業」	14
地域連携に関するカリキュラム・国際化	
石巻圏でこそ得られる学び	15
地域から世界へ・世界から地域へ	16
学び直し　リカレント教育・市民講座	
知りたいことを大学の知でお答えする	17
みんなで考える石巻	17
石巻地域活動	
地域に根差して世界に尖った大学を目指して	19

■ 地域研究

地域研究	
地域課題解決に向けた研究を推進	23
共創研究センタープロジェクト紹介	25 ～ 31

■ 研究シーズ・出前授業

理工学部生物科学科	32
理工学部機械工学科	36
理工学部情報電子工学科	37
経営学部経営学科	39
経営学部情報マネジメント学科	41
人間学部人間文化学科	42
人間学部人間教育学科	44

■ お問い合わせ・申し込み

高等学校の探究学習・課題研究支援	47
出前授業等　各種依頼	47
技術相談	47

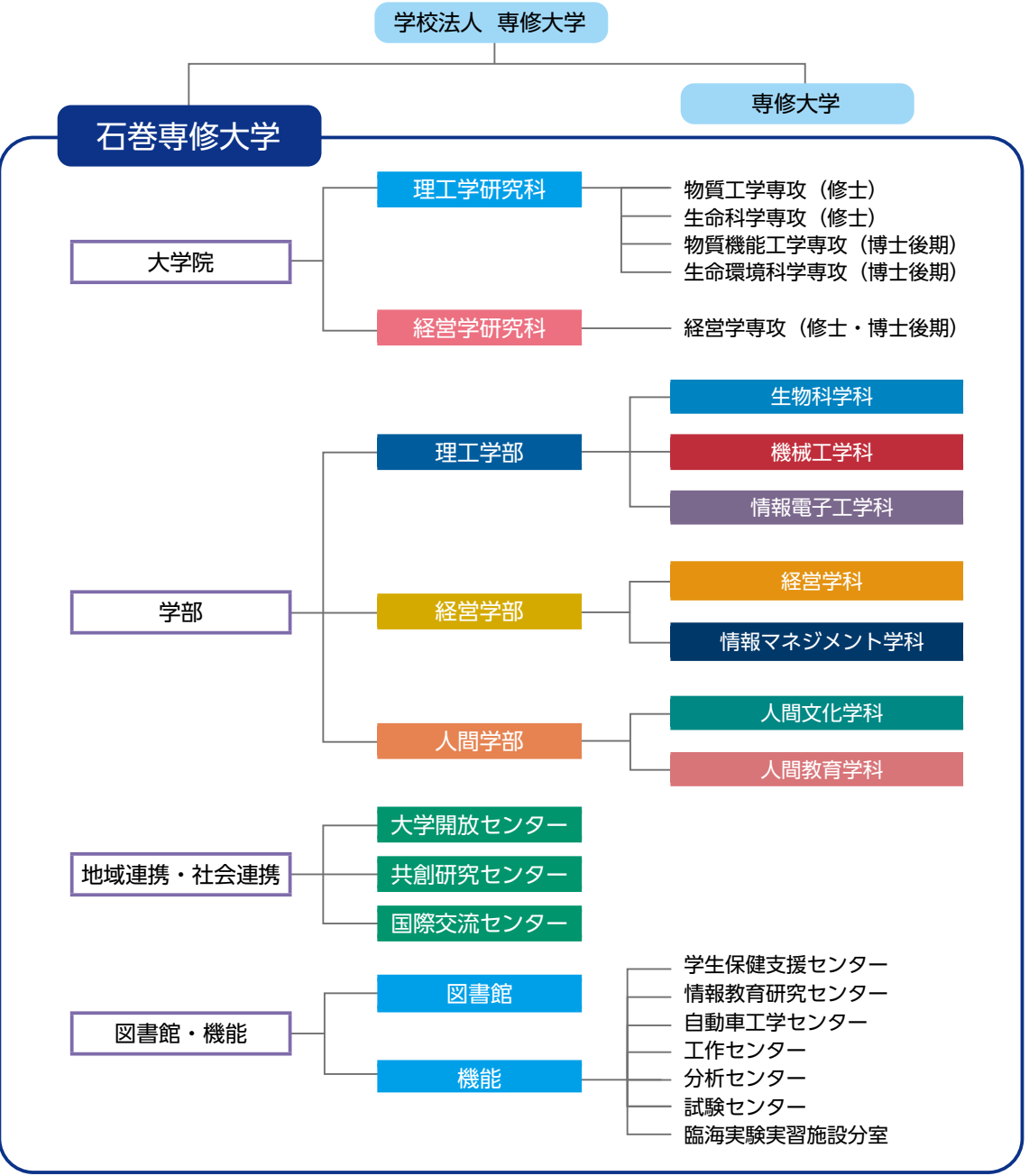
石巻専修大学は、地元自治体や地域の皆さまのご支援を受け、1989年に開学しました。以来、宮城県北部で唯一の高等教育機関として、地域と共に歩み、発展に寄与することを使命としてまいりました。

本学では、「中長期ビジョン 行動目標② 地域連携による社会実装と地域教育の強化」に資するため、自治体や企業、団体との連携活動を推進するとともに、小中高一貫での地域教育にも力を入れています。教育・研究を通じて地域の課題解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指すことは、本学の重要な責務です。

このたび、これらの取り組みの成果を広く共有し、さらなる連携を深めることを目的として「地域連携ハンドブック」を刊行いたしました。本書が、地域の皆さまと本学との協力を促進し、より豊かな社会の創出に寄与することを願っております。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

石巻専修大学の組織図



石巻専修大学のあゆみ

昭和期		
1988 (昭和 63) 年	12 月	石巻専修大学設置許可
平成期		
1989 (平成 元) 年	3 月	石巻専修大学キャンパス落成
	4 月	石巻専修大学開学 大学開放センター設置
1991 (平成 3) 年	4 月	大学院理工学研究科、経営学研究科修士課程設置
	7 月	工作・試験センター竣工
1995 (平成 7) 年	4 月	大学院理工学研究科博士後期課程設置
1997 (平成 9) 年	4 月	大学院経営学研究科博士後期課程設置
2000 (平成 12) 年	10 月	新キャンパス (5 号館) 落成
2006 (平成 18) 年	10 月	自動車工学センター竣工
2009 (平成 21) 年	4 月	共創研究センター設置
2013 (平成 25) 年	4 月	人間学部設置
2015 (平成 27) 年	3 月	石巻専修大学ユニバーシティハウス (学生寮) 竣工
2016 (平成 28) 年	4 月	第五代学長に尾池守就任
2017 (平成 29) 年	4 月	石巻専修大学経営学部から専修大学経営学部への国内留学開始
令和期		
2021 (令和 3) 年	4 月	経営学部情報マネジメント学科設置
2025 (令和 7) 年	4 月	第六代学長に阿部知頭就任

詳細は HP をご参照ください



公的機関等との連携

2024年(令和6)年度締結

4 月	宮城県警察と学生を犯罪から守るための相互協力に関する協定
6 月	みらい・バリュー・TOHOKU 参画
7 月	聖ドミニコ学院小学校と連携に関する覚書
9 月	安部学院高等学校 (東京都北区) と連携に関する協定
10 月	みやぎものづくりカレッジ参加
11 月	震災伝承みやぎコンソーシアム (学術機関等) に加盟



詳細は HP をご覧ください



大学開放センター長あいさつ

大学開放センターは、本学の文理融合による知の成果を活かし広く地域の諸課題に答えるため、出前授業・技術相談・探究相談、等の対応など、地域への「窓」としての役割を担っています。

さらに第2次中長期ビジョンでは、地域社会との連携・共生を重視し、地域に愛される大学づくりを掲げ、SDGsの理念に沿って、持続可能な社会の作り手の育成、石巻圏域の諸課題解決というミッションをもっています。そのため当センターは学生、教職員が一丸になり地域諸課題に取り組むための素地づくり、また地域の声をきくという共創の場づくりという性格を有しています。

混迷する現代社会は、AI との共存や気候変動など複雑な課題を抱えています。よって、その「解」を導くことは困難を伴うものになりつつあります。しかしそのような時代だからこそ、「いしのまき」という地域とともに、歩みをすすめることで、新時代への扉を開く「解」を得られるものと考えます。地域と共創・連携し、共に歩むということが、イノベーションの種を育むものと思います。

そのため、我々は産学連携推進の他、「生涯学習」の拠点としても広く市民の皆さまと共に学びつづける場を設



2025（令和7）年4月
大学開放センター長 菅原 玲

け、開かれた大学であることを目指しています。
研究シーズの社会実装のため、また心豊かな地域社会の創出のため、共創研究センターの研究支援の取り組みと連携し地域と共に「歩み」をつづけてまいります。

共創研究センター長あいさつ

共創研究センターは、地域自治体・企業の活動と本学の教育・研究活動を繋げて、地域に根ざした新しい学際的教育・研究分野を創造することを目的に、2009年4月に設立されました。“共に創る”をキーワードに、地域の行政・教育・産業が抱える課題を探り、その解決に向けて“産・官・学”連携で取り組む研究プロジェクトを企画・推進して、地域発展の一翼を担うことをめざしています。

本学と東京の専修大学は、「建学の精神：社会に対する報恩奉仕」と「21世紀ビジョン：社会知性の開発」を共通理念として掲げています。本学は、この理念を、石巻の地で実践すべく、日々研究・教育活動に邁進しております。東日本大震災を乗り越えて、未来に向けて踏み出すためには、地域資源を活用し、新しい産業・システムを創出することが不可欠です。本学共創研究センターは、地域の課題を分析して、その解決に寄与する研究プロジェクトを採択し、地域自治体・産業界との協力のもとに、全学教員・学生の総力を上げて、新しい研究分野の創出に努めてまいります。

共同研究に関するご相談・お問い合わせは、「開放センター」を窓口として受け付けております。本学の「研究

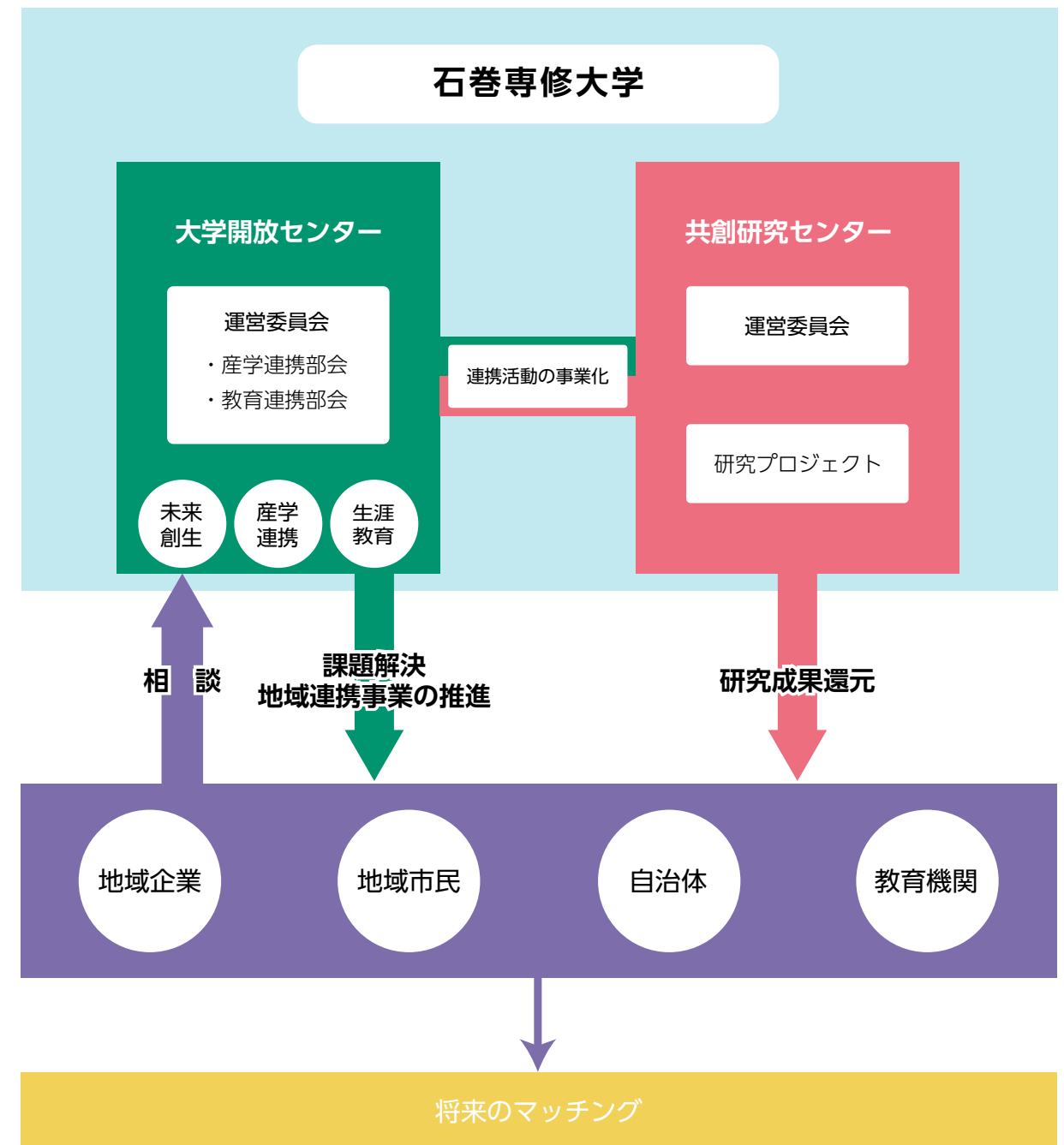


2025（令和7）年4月
共創研究センター長 安田 隆

者情報データベース」や「シーズマップ」をご参照の上、お声がけください。今後とも、開放センターと緊密に連携しながら、プロジェクトを企画、推進してまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

大学開放センター・共創研究センターの役割

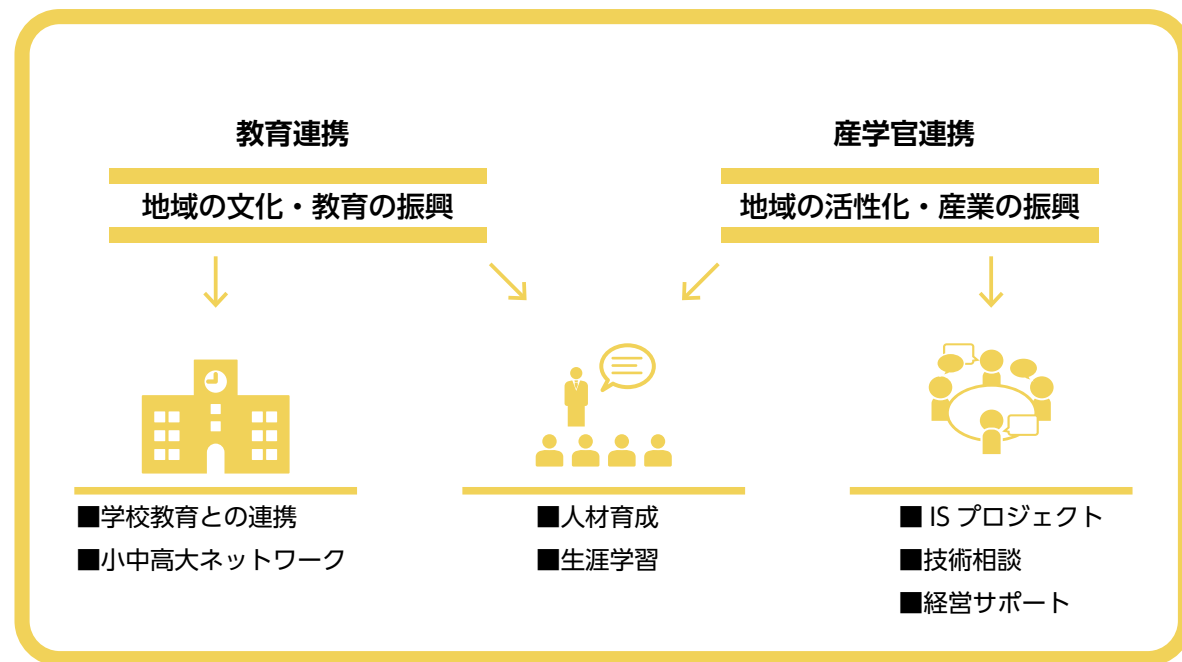
本学は、地域に開かれた大学として、大学開放センター及び共創研究センターを設置しています。大学開放センターが地域連携の窓口となり、具体的な地域課題については共創研究センターが研究面から解決に当たるなど、2つのセンターは車の両輪のように協力しながら、地域の持続的発展に努めます。



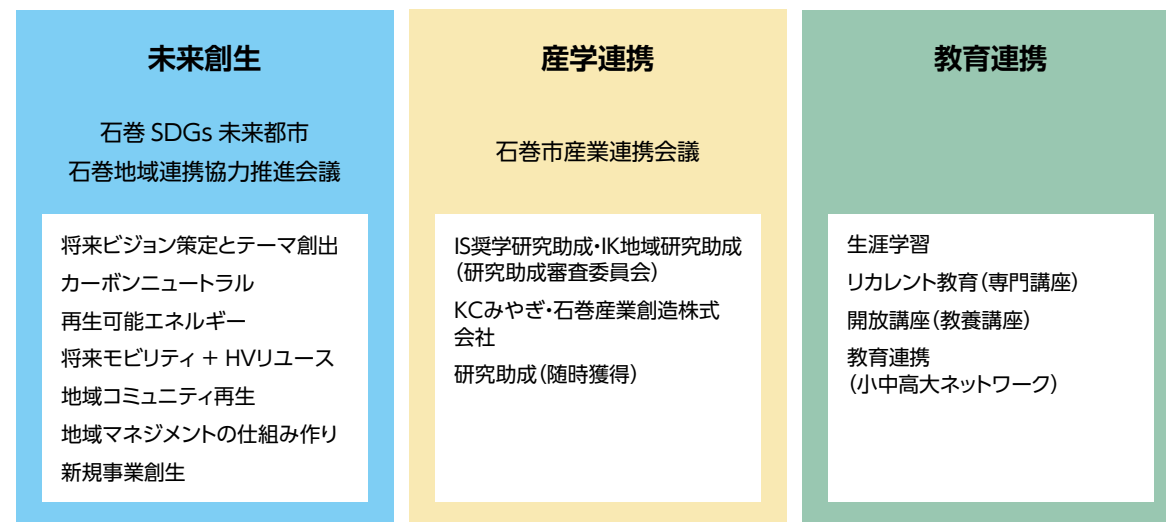
大学開放センター

大学開放センターは、本学に蓄積された研究・教育の成果を広く市民に開放するとともに、産学官体制の推進と地域産業の振興に寄与することを目的として、開学と同時に 1989 年 4 月に設立されました。

本学は、教職員や学生という人的資源、施設や設備という物的資源、そして自然科学・社会科学・人文科学という専門分野ごとの知的資源を持っています。本センターは、これらのリソースを活かして「教育連携」「産学官連携」を大きな柱として以下の事業を行っています。また、本センターは、共創研究センター等の学内諸機関の地域連携の窓口となり、地域の発展に資する取り組みを支援していきます。

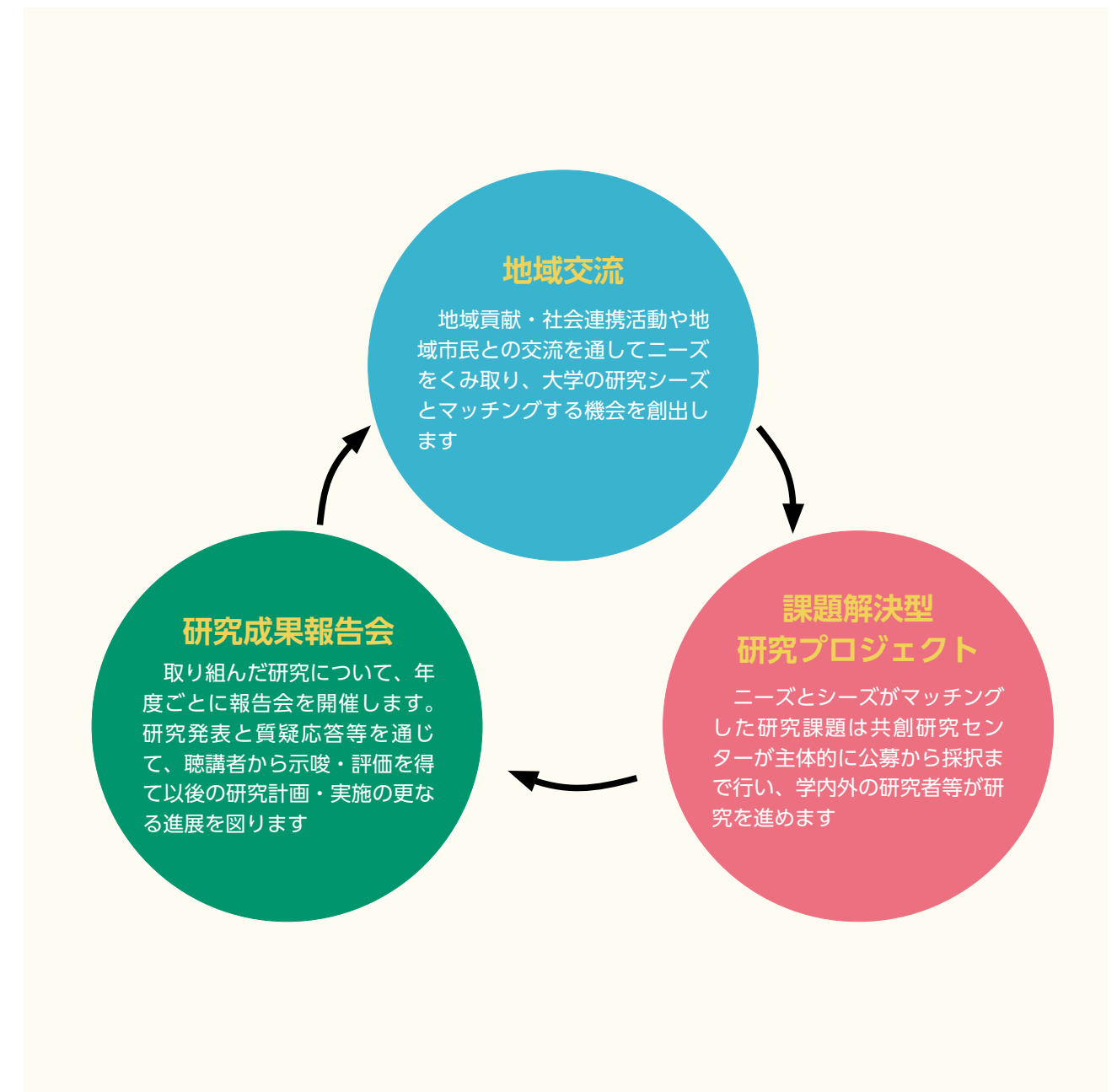


大学開放センター活動（三つの柱）



共創研究センター

共創研究センターは、地域連携活動及び教育研究活動を通して、地域の産業及び文化、その他の諸領域の課題について、共同研究を推進することにより、地域の持続的発展並びに本学の研究活動の強化及び学際的教育研究分野の開拓に資することを目的として、2009 年 4 月に設立されました。大学の研究シーズを、不断の地域連携活動及び教育研究活動を通して、地域の産業、文化、その他の諸領域にわたるニーズ（学外ニーズ）と融合させるとともに、地域の課題について課題解決型研究プロジェクトにより、地域の持続的発展に貢献します。



▶ こどもたちの「学ぶ」力を育てる取組

本学では、子どもたち一人ひとりの良さや可能性を引き出し、学問への興味関心を高めることを目的にフィールドを活かした学びの場を提供しています。

子ども向け

「親子で知ろう睡眠のこと～読み聞かせと展示～」 @イオンモール石巻

令和6年12月22日(日)

イオンモール石巻にて、人間学部人間教育学科保育学研究室(指導:高橋有香里特任准教授)と図書館ボランティアLOVERARYが、子ども向けイベントを開催しました。当日は、学生8人が「睡眠」をテーマに絵本の読み聞かせ、パパ・ママ向けブックトーク、ワークショップなどを行い、来場者と交流しました。



小学生対象

本学は、小中学校で行っているSTEAM教育等の教科横断的な学びを支援しています。

聖ドミニコ学院小学校と プログラミング教育に関する覚書締結

令和6年7月5日(金)

聖ドミニコ学院小学校とプログラミング教育に連携協力し児童のプログラミング能力の向上及び地域社会の発展に寄与することを目的とする覚書を締結しました。

【令和6年度の連携内容】

◆ドローンプログラミング教室(3・4年生対象)

1月14日(火)・2月18日(火)

三橋勇太 経営学部 講師

◆マイクロビットを活用した理科の授業サポート(6年生対象)

2月20日(木)

新鶴田道也 人間学部 助教

◆アイロボットを活用した算数の授業サポート(5年生対象)

2月28日(金)

水野純 理工学部 教授



いしのまき子ども未来スクール 「スライムを作って研究してみよう!～」

令和6年11月24日(日)

講師は、人間学部人間教育学科新鶴田道也助教と人間教育学科の学生4名。参加した宮城県在住の小学生13名とその保護者は、初めに講座で「スライムとは何か」を学んだ後、実際にスライムを試作。作ったスライムをショック吸収材として使用し、スーパーボールの跳ね上がる高さがどう変化するかを研究しました。



全国初 大学生主体の算数トライアスロン開催 教員を志す学生がサポート

令和6年11月9日(土)

本学、学生ホールにて、宮城県内では初、大学生主体は全国初となる「算数トライアスロン」を開催しました。参加した石巻市内の小学4年生から6年生25名の児童たちは、足早に問題用紙を受け取り一生懸命問題に取り組みました。

「算数トライアスロン」とは、通常の授業とは異なり、体を動かしながら数字に関するパズルや、迷路などの問題をトライアスロンのように解いていくものです。



「海と日本PROJECT inみやぎ2024 「深海深掘り調査隊」～深海魚を調査利用して 三陸沖の未来を見つけよう!～」

第1回: 令和6年6月22日(土) 場所: 石巻専修大学

第2回: 令和6年7月29日(月) 場所: 仙台うみの杜水族館

第3回: 令和6年9月14日(土) 場所: 石巻市水産総合振興センター

理工学部生物科学科鈴木英勝教授が、宮城県内の小学5年生と6年生(参加者20名)対象の本イベントでツアーのメイン講師を務め、ツアーで使用した「深海深掘り調査ノート!」の監修を行いました。



小学生向けドローンのプログラミング体験

第1回: 令和6年6月27日(木) 場所: 石巻市立住吉小学校

第2回: 令和6年11月18日(月) 場所: 石巻市立大谷地小学校

第3回: 令和7年1月15日(水) 場所: 石巻市立和湊小学校

理工学部機械工学科高橋智研究室が石巻市との包括連携協定に基づき、石巻市視聴覚センター主催「サテライト研修会」に協力。ドローンを使用した小学生向けプログラミング体験を行いました。



海洋ベントス学研究室による小学生向けイベント

理工学部生物科学科阿部博和研究室がイベントを開催しました。

◆南三陸子ども自然史ワークショップ

令和6年7月13日(土) 場所: 南三陸ネイチャーセンター

◆夏休み自由研究企画「縁の下のちからもち、

ふしぎな海のいきもの「ベントス」のヒミツを探ろう」

令和6年8月3日(土)・4日(日) 場所: 牡鹿半島ビジターセンター

◆石巻専修大ベントス研 水辺の生き物ふしぎセミナー

令和6年8月18日(日) 場所: 石巻・川のビジターセンター



▶ 好奇心・探求心を深める「大学見学会」

「大学見学会」は、地域貢献の一環として、小中高生に大学の高度な教育・研究に触れる機会を提供し、個々の能力・適性の伸長および本学への関心・理解を深め、進路選択の一助としていただくことを目的に実施しています。

中学校

大学見学会

石巻市立北上中学校

令和6年11月6日(水)

2年生が進路学習の一環として来学しました。

「大学での学び」をテーマに、理工学部生物科学科太田尚志教授が講義を行い、大学で学ぶことの目的や、小学校から高校までの授業との違いなどについて伝えました。

在学生による体験談や授業・施設見学なども行い、大学生活をイメージしてもらいました。



職場体験学習

石巻市立河南東中学校

令和6年11月13日(水)

東松島市立矢本第二中学校

令和6年11月20日(水)

中学生のキャリア教育の一環として行われている職場体験学習に毎年協力しています。令和6年度は、2校の生徒に図書館長による『「本との対話」読書をととして自分を見つめ直す』と題した講話や施設見学、図書館業務の体験をしてもらいました。



高等学校

宮城県気仙沼向洋高等学校

令和6年4月26日(金)

産業経済科の3年生が探究学習とキャリア教育の一環で訪れ、模擬授業体験や施設見学を行いました。

■鈴木英勝 理工学部 教授

テーマ：大学のできる地域貢献

テーマ：研究を始めるにあたっての心構え

■横江信一 人間学部 特任教授

テーマ：p4c(探究の対話)であなたの大切な価値を見つけてみませんか

■小松真治 経営学部 助教

テーマ：気仙沼市の将来人口からまちづくりを考える



宮城県南三陸高等学校

令和6年6月26日(水)

1年生が希望する分野に分かれて模擬授業を受講しました。

■久米学 理工学部 准教授

テーマ：二ホンウナギが落差工の上流にいるのは何故か？

■小松真治 経営学部 助教

テーマ：南三陸町の将来人口を知り、まちづくりについて考える

■阿部純 人間学部 助教

テーマ：人種問題とは何だろう？—コロナ禍のアメリカ社会から考える—



宮城県石巻北高等学校

令和6年7月5日(金)

1年生26名が来学しました。

大学の概要を説明した後、本学に在学する石巻北高校出身者4名が学生生活の魅力や、研究室やゼミナールでの取り組み、大学進学のかきかけなどを紹介しました。

施設見学では、骨格標本愛好会の学生が自分たちで組み立てた標本について解説しました。学生食堂の利用体験なども行いキャンパスの雰囲気を感じてもらいました。



宮城県石巻北高等学校 飯野川校

令和6年10月17日(木)

2年生が進路指導の一環として来学しました。

5号館MM教室で、「大学ってどんなところ？」をテーマに経営学部情報マネジメント学科関根慎吾教授が講義を行いました。

その後、在学生が、大学での学びや大学生活での体験談を紹介。学内施設や授業の見学も行いました。



専修大学北上高等学校

令和6年9月11日(水)

高大連携事業の一環として開催。1年生310名が来学し、大学説明やキャリア講話、施設見学(実験室ツアー・学内探索)、本学教員による講義をととして本学の雰囲気を体感しました。

講義は、理工学部、経営学部、人間学部の教員が担当。生徒たちは、15分野の講義の中から自分の興味にあわせて2つ選択して受講しました。



専修大学熊本玉名高等学校

令和7年2月3日(月)

修学旅行の一環で2年生145名が来学し、本学に在学する専修大学熊本玉名高等学校出身者の紹介や理系・文系に分かれて模擬授業を行いました。

理系テーマ：野生動物の交通事故について考えてみよう

講師：辻大和 理工学部 准教授

文系テーマ：あなたの地元が「推し観光地」になる方法

講師：庄子真岐 経営学部 教授



▶ 高校生の探究学習をサポート

探究アカデミックミーティング

高等学校で実施している探究学習や課題研究を深めるために、高校生が本学の研究室や実験室を訪問し、個別に本学の教員や学生と対話をととして研究活動を行うことを「探究アカデミック・ミーティング」と称しています。本学では、高校生が自ら課題を見つけて解決する「探究学習」を積極的にサポートしています。

※令和6年度実施件数 51件(10校)

宮城県石巻西高等学校

「街クエストフィールドワーク」

令和6年5月28日(火)

3年生54名が、講話「若者世代と一緒に未来の街を考える」(担当:理工学部機械工学科梅山光広教授)や意見交換、研究室訪問などをととして地域活性化に向けて理解を深めました。

令和6年6月25日(火)

2・3年生が、高校で行っている探究学習の取組状況、今後の展開について、本学教員と意見交換をしました。当日は、研究テーマごとに分かれて、本学の教職員19名が研究活動の助言、参考文献の紹介、学生を交えた体験ラボなどを行いました。

「探求オフィスアワー」

令和6年12月10日(火)・11日(水)

4名の生徒が、理工学部生物科学科「ゲノム構造解析研究室」で、柴田清孝教授から形質転換と遺伝子組み換えについて、実験や研究の指導を受けました。

宮城県石巻好文館高等学校

「甲斐ある人といわれたいむ」

令和6年7月17日(水)

1年生5人がSDGs研究フィールドワークで本学を訪れ、人間学部人間教育学科横江信一特任教授にインタビューしました。

宮城県石巻高等学校 受け入れ件数：13件

令和6年8月 5日(月) 新福悦郎 人間学部 教授
令和7年1月31日(金) 高橋寛人 人間学部 教授
令和7年2月10日(月) 横江信一 人間学部 特任教授
令和7年2月13日(木) 稲葉健太郎 経営学部 准教授
令和7年2月14日(金) 2件 山本雄大 人間学部 准教授
令和7年2月14日(金) 2件 大道一弘 人間学部 講師
令和7年2月17日(月) 山本雄大 人間学部 准教授
令和7年2月17日(月) 矢邊均 経営学部 教授
令和7年2月17日(月) 高橋功祐 人間学部 助教
令和7年2月18日(火) 小玉幸助 人間学部 准教授
令和7年2月21日(金) 前田敏輝 理工学部 教授



宮城県石巻商業高等学校

令和7年1月15日(水)

2年生の商業科目「観光ビジネス」を学ぶ生徒7名が来学。観光振興策発表会に向けた事前学習を行いました。

生徒一人ひとりが自分自身で考案した観光振興策を発表した後、経営学部経営学科庄子真岐教授と庄子ゼミ3年次大沼雅士さんがブラッシュアップにつながる助言指導を行いました。

石巻市立桜坂高等学校

令和6年11月29日(金) 柳明 理工学部 教授

宮城県気仙沼向洋高等学校

令和6年8月20日(火)

産業経済科の3年生が魚類生理に関する研究について、理工学部生物科学科海洋動物・魚類生理学研究室角田出教授から技術指導を受けました。

宮城県仙台南山高等学校

令和6年8月20日(火)

2年生4名が理工学部機械工学科を訪問。講義や実験室ツアーを通して大学の学びに触れました。機械工学科稲毛真一教授が研究紹介や講義、実験を担当。探求研究に関する質問への助言指導も行いました。

専修大学北上高等学校

◆令和6年度は、5件実施(オンライン含む)しました。

令和6年 8月21日(水) 永山貴洋 人間学部 教授 (オンライン)
令和6年 9月11日(水) 根本智行 理工学部 教授
令和6年12月 2日(月) 横江信一 人間学部 特任教授
令和6年12月11日(水) 庄子真岐 経営学部 教授 (オンライン)
令和6年12月17日(火) 稲葉健太郎 経営学部 准教授

宮城県東松島高等学校

令和6年度 高大連携特別講座

7月29日(月)～8月2日(金)

7月29日(月)から8月2日(金)の5日間、令和6年度宮城県東松島高校との高大接続研究事業として、夏期特別講座を実施しました。本学教員による「自然科学から見た牡蠣の食文化」「地球温暖化とAI」「ドローンを使った観光」などの講座に、8名の生徒が参加しました。

参加した生徒から「実際に講義を受けることで、大学の雰囲気を感じることができた」や「様々な分野の講義を受けることで視野が広がり、今後の進路選択において参考となった」などのコメントが寄せられました。



▶ 高校生の探究学習をサポート

高等学校で行われる探究学習の授業や研究発表会に教員を派遣し、専門的な知識や技術を活用して指導や助言を行っています。

※令和6年度実施件数 33件(8校)

宮城県石巻好文館高等学校 「甲斐ある人といわれたいむ」

平成26年度から高大連携の一環として、本学教員が、総合的な学習の時間「甲斐ある人といわれたいむ」2年生分野別課題研究(個人研究)および1年生SDGs研究へ参加し、研究指導・助言を行っています。

令和6年4月27日(土)・7月17日(水)・10月9日(水)・2月5日(水)

2年生分野別課題研究への参加

令和6年4月27日(土) 基礎講習

2年生対象に、高大接続連携事業として展開している第1回目の特別講座が実施されました。初めに全体講義で理工学部機械工学科三木寛之教授が「研究とは何か?」をテーマに、専門の研究分野の視点から説明しました。その後の分野別講義では、本学教員6名が、研究者の立場から、生徒の知的好奇心、研究活動への興味関心、課題研究や探究学習の質向上に向けての特別授業を行いました。

令和6年7月17日(水) 出前講義実施

2年生の分野別出前授業に、本学から8分野8名の教員が講師として参加し、生徒が設定した課題研究について、アドバイス・指導を行い、年度末に行われる分野別課題研究ポスター発表会に向けて準備を進めました。

令和6年5月22日(水)・9月25日(水)・10月26日(土)

1年生SDGs研究活動への参加

宮城県石巻西高等学校

令和6年7月16日(火) 教員マイプロ 山本雄大 人間学部 准教授

令和6年9月 6日(金) 街クエスト発表会 尾形孝輔 事務部 事務課 課長

令和7年1月29日(水) 全体発表会 山本雄大 人間学部 准教授

宮城県石巻高等学校

令和6年12月17日(火) 探求活動中間発表会

尾形孝輔 事務部 事務課 課長

宮城県気仙沼向洋高等学校

令和6年 9月30日(月) 校内課題研究代表生徒中間発表会

角田出 理工学部 教授、鈴木英勝 理工学部 教授

令和6年10月19日(土) 「向洋祭」における産業経済科課題研究中間発表について

鈴木英勝 理工学部 教授

令和7年 1月22日(水) 校内課題研究発表会 角田出 理工学部 教授

専修大学北上高等学校

令和6年8月26日(月)、27日(火)、11月9日(土)

グローバルビジネス科2年生「カリキュラム開発におけるメンター派遣」

李東勲 経営学部 教授、矢邊均 経営学部 教授

宮城県仙台向山高等学校

令和6年11月1日(金) 向陵オープンセミナーへの参加 稲毛真一 理工学部 教授



▶ 大学の多様な学びを提供「出前授業」

「出前授業」では、本学教員が小・中学校、高等学校、各種団体等に出向いて授業を行います。この授業を通じて大学での学びの楽しさや深さを体験することができます。

※令和6年度実施件数 31件(14校)

宮城県気仙沼高等学校

令和6年5月10日(金)、5月28日(火)

「高校生のための分子遺伝学実験プログラム」実験指導

自然科学部で理工学部生物科学科植物発生遺伝学研究室中川繭准教授と研究室の学生が開発した「高校生のための分子遺伝学実験プログラム」の体験指導を行いました。

自然科学部の生徒たちは、シロイヌナズナの栽培、DNAの抽出、制限酵素処理を行った後、中川准教授のアドバイスを受けながらPCR法によるDNAの増幅とDNAの電気泳動を実施。その実験結果を確認、考察しました。



東北生活文化大学高等学校

令和6年10月15日(火)

「災害からの復興に向けた社会的アプローチ」

人間学部人間文化学科西川慧准教授が、2年生を対象に「災害からの復興に向けた社会的アプローチ」をテーマに授業を行いました。

授業では、東日本大震災から13年経ったいまだからこそできることについて考えました。被災された方が再び希望を見いだすための復興や被災地で生活している人たちの視点の重要性について、生徒と一緒に考えました。



専修大学北上高等学校

令和7年2月7日(金)

「簿記ってどう役立つの?身近な例から考えてみよう」

グローバルビジネス科1年生を対象に、経営学部経営学科田村真介准教授が授業を行いました。受講した76名の生徒は、経営者になったつもりでクイズに解答しながら取引の仕訳を進めて、会社運営と簿記について考えました。

令和7年2月27日(木)～3月4日(火)

高大連携特別授業

2年生104名を対象に実施

実施日	担当教員	テーマ
令和7年 2月27日(木)	三木寛之 理工学部 教授	研究とは
令和7年 2月28日(金)	稲毛真一 理工学部 教授	理系に関すること 環境について
令和7年 3月 3日(月)	永山貴洋 人間学部 教授	スポーツに関すること
令和7年 3月 4日(火)	横江信一 人間学部 特任教授	キャリアに関すること



▶ 石巻圏でこそ得られる学び

全学部1年次を対象とした授業「いしのまき学」をオムニバス形式で行っています。毎回、講師に石巻圏域を中心に活躍する実務経験者を招き、石巻圏域の歴史・文化・社会について、さまざまな角度から理解を深めています。



実施日	テーマ	講 師
4月17日 (水)	誇れる石巻を目指して～石巻に住んで良かったと思えるまちづくり	石巻市長
4月24日 (水)	東日本大震災からの大学の取組と地域社会連携	石巻専修大学事務部
5月 8日 (水)	東日本大震災の記憶と教訓の伝承	宮城県庁 復興支援・伝承課
5月15日 (水)	石巻と地域メディア	石巻日日新聞社
5月22日 (水)	石巻の自然環境	石巻・川のビジターセンター
5月29日 (水)	石巻の歴史	石巻専修大学人間学部
6月 5日 (水)	石巻市博物館ミュージアム・トーク	石巻市博物館
6月12日 (水)	石巻で働く	まちと人と
6月19日 (水)	石巻を遊ぶー川開き祭について	石巻商工会議所
6月26日 (水)	石巻の街づくり	街づくりまんぼう
7月 3日 (水)	石巻の行政	石巻市政策企画課
7月10日 (水)	面白い力が人生を豊かにする	ポプラ社
7月17日 (水)	SDGs未来都市いしのまきの実現に向けて	石巻市 SDGs 移住定住推進課
7月26日 (水)	総括ー石巻というフィールドでわたしたちができること	

地域と政策

1年次後期の授業「地域と政策」では石巻圏域（石巻市、東松島市、女川町）の首長や地方行政に携わっている実務家を講師に招き、自治体が当面する課題やまちづくりにあたって必要とされる地域住民と自治体の連携について理解します。



海洋生物・環境科学実習

理工学部生物科学科3年次対象の本実習では、自然群集の生物に対する理解を深めるため、実際にフィールドに出て、生きた状態の生物とそれらが棲息する環境の持つ情報を五感で直接的に把握します。海洋から湖沼まで、近くに豊かなフィールドがあり、そこで生物採集および観察、環境観測の基本を経験できることが本学の特徴です。採取した生物について分類学的な評価や生理学特性の計測実験を行い、自然界で営まれる生物の多様性や生物生産過程についても理解します。

令和6年8月21日(水)「海洋編」

海洋生物と環境との関わりについて理解を深めることを目的に、石巻市北上町十三浜の追波湾と大室磯浜で、2グループに別れて乗船による海洋観測実習と磯場でのベントス（底生生物）調査を実施しました。

令和6年9月21日(土)～22日(日)「湖沼編」

宮城県北部に位置する伊豆沼の自然の豊かさを感じて、環境保全について学ぶことを目的とし、生物資源保全にかかわる野外実習を行いました。



▶ 地域から世界へ・世界から地域へ

本学は、開学時より国際交流センターを設置し、海外との交流協定締結、教員および学生の派遣や受け入れなど、教育研究の国際化を図っています。

また、「ピアサポーター制度」を実施し、日本人学生が、交換留学生に対して大学生活や日常生活に適応できるよう友人・仲間としてサポートを行っています。日本人学生にとって海外に行かなくても異文化交流ができることから、人気の高い制度です。

交換留学生受け入れプログラム

本学の国際交流協定校である温州大学(中国・浙江省)、ランドルフ・メーコン大学(米国)、東北電力大学(中国・吉林省)から受け入れた交換留学生が、石巻地域等での活動を通じて日本の歴史や文化に触れることができるプログラムを実施しています。本学の学生や他の留学生、地域の方々との交流機会を設けながら実施しており、本学のブランドスローガン「地域に根差し、世界に尖った大学」を目指した実践形のプログラムです。

【令和6年度の実績】

令和6年5月19日(日)

じゃば needs 塾・「民族衣装の紹介と着物の着付け体験」

石巻市総合福祉会館みなと荘で開催された「じゃばneeds塾(主催:石巻市)」に3名の日本人学生が参加しました。石巻在住の外国人から民族衣装が紹介された後に「着物deスマイル」の指導で着付け体験を行いました。意見交換や記念撮影などでも外国人と交流を深めました。



令和6年6月30日(日) 宮城県涌谷町訪問

涌谷町の天平ろまん館において課外活動を実施しました。参加した東北電力大学の交換留学生4名と日本人学生2名は、茶道体験や砂金取りなどを行い、涌谷町職員や涌谷町国際化協会の方々と交流しました。



令和6年7月19日(金) 交換留学生帰国報告会2024

令和5年9月より令和6年8月まで本学で受け入れた温州大学と東北電力大学からの交換留学生7名が、本学での学びや学外研修で体験したことを報告しました。

令和6年9月10日(火) 中国からの交換留学生が来日

東北電力大学からの交換留学生が来日しました。令和元年度に本学と東北電力大学が国際交流協定を締結し、今回の受け入れが3回目となります。



令和6年12月7日(土) 学外研修「岩手県平泉訪問」

交換留学生5名とピアサポーター7名が参加。平泉の歴史について事前ワークで学んだ後、グループごとに現地を見学しました。留学生と日本人学生が互いの国の建物や文化について議論することで、日本文化への興味・関心を深めました。



この他にも、国際交流協定校への交換留学生派遣、協定校とのオンライン交流会等を実施しています。

▶ 知りたいことを大学の知でお答えする

令和6年度みやぎ県民大学

統一テーマ「一宮城・石巻一地元を知って未来を語る～地元シリーズ新章！～」

社会貢献活動として大学の知を広く地域・社会に還元するため平成3年度から「石巻専修大学開放講座」を実施しています。令和6年度は、統一テーマを地元シリーズ新章!「地元を知って未来を語る」とし、6月6日から毎週木曜日開講。本学の教員が宮城県、石巻地域をあらためて見つめなおし、地域の魅力の再発見や再認識を促す講座を行いました。

対 象：16歳以上の宮城県内在住の方

実 施 日：令和6年6月6日(木)～7月11日(木)

実施場所：4号館1階 4101 教室

主 催：石巻専修大学 / 宮城県教育委員会

共 催：公益財団法人石巻地域高等教育事業団



実施日	テーマ	講 師
令和6年6月 6日(木)	高齢化に伴うコンパクトシティとモビリティの在り方	梅山光広 理工学部 教授
令和6年6月13日(木)	地方都市における人口減少について考える	小松真治 経営学部 助教
令和6年6月20日(木)	未来を創る石巻 STEAM 教育とは	新鶴田道也 人間学部 助教
令和6年6月27日(木)	信頼関係を築くコミュニケーション力の育て方	横江信一 人間学部 特任教授
令和6年7月 4日(木)	健康とまちづくり	山内武巳 人間学部 教授
令和6年7月11日(木)	安全安心な人にやさしいまちづくり	庄子真岐 経営学部 教授



▶ みんなで考える石巻

社会人リカレント教育

社会人のリスキリングに貢献すべくリカレント教育プログラムを展開しています。時代とともに変化していく企業等の課題やニーズに合わせた講義をオーダーメイドで実施。オンラインにも対応します。

令和6年6月24日(月)

宮城県高等学校理科研究会大崎支部研修会(会場:宮城県古川工業高等学校)

理工学部機械工学科梅山光広教授が高校教員向け出前授業を行い、「コンパクトシティ&ネットワーク」、「SDGs まちづくり・将来モビリティ・再生可能エネルギー」、をキーワードとして、未来人の視点をもって世代を超えた対話や交流が大切であることや、小中高大一貫教育による未来型人材育成の考え方について語りました。



アートマネジメント公開講座

授業「アートマネジメント」は、博物館を地域資源の一つとして機能させることを目的に、地域のなかで求められる博物館の役割に焦点をあてながら、地域住民が運営に参画できる仕組みについて解説しています。

近年、漫画やアニメ、デザインなどのコンテンツを活用したまちづくりが全国的に進められていることを背景に、各分野の専門家を講師に招いて実施しました。

一般の方へも公開し、まちづくりにおける博物館の役割と地域資源を活用した文化的な発展や社会貢献の可能性について理解を深める機会にいただきました。

対 象：本学学生、教職員、一般市民

授業担当教員：庄子真岐 経営学部 教授

実 施 日：令和6年11月7日(木)～12月5日(木)

実 施 場 所：4号館1階 4101 教室

実施日	テーマ	講 師
令和6年11月 7日(木)	博物館の運営	株式会社街づくりまんぼう 代表取締役社長
令和6年11月14日(木)	博物館におけるマーケティング	株式会社感動コーポレーション 代表取締役会長
令和6年11月21日(木)	博物館における経営分析	株式会社丹青社 空間メディアプロデュース 統括部部长
令和6年11月28日(木)	博物館における連携：市民参画、ボランティア	リボンアートフェスティバル 事務局長
令和6年12月 5日(木)	博物館における他館連携	横手市増田まんが美術館 館長

教師力向上セミナー「いしのまき教師塾」

教職を志している本学の学生、宮城県東部教育事務所管内の小・中学校に勤務している初任層の教員などを対象に、教員「養成・採用・研修」の一体化を図り、教師としての資質能力の向上を目指すことを目的として毎年セミナーを開催しています。

(1)「養成・採用」コース

実 施 日：令和6年8月7日(水)・8日(木)

実施内容：教員採用試験二次試験対策講座(個人面談・集団討議の実践)

(2)「研修」コース

実 施 日：令和7年1月22日(水)

実施内容：対談と講話「これからの学級の育て方・生かし方」



子育て・家庭教育をサポート

保育所・幼稚園・こども園・小学校職員や保護者など、家庭教育支援にかかわる人を対象に、人間学部人間教育学科高橋功祐助教が講演を行いました。

講演テーマ：「子どもの体力・運動能力と生活習慣について
～子どもの運動促進を目指して～」

令和6年7月25日(木)

令和6年度石巻地区公立幼稚園・こども園協議会夏季実技研修会

令和6年9月11日(水)

令和6年度東部管内第2回「学ぶ土台づくり」研修会



▶ 地域に根差して世界に尖った大学を目指して

新渡戸文化高校スタディーツアー「体験学習」を支援 令和6年11月11(月)・12日(火)

石巻市内で行われた新渡戸文化高等学校（東京都中野区）のスタディーツアーに本学の学生と教員が協力しました。
11日は、「自分たちで捕獲した魚を自分たちで料理して食べる」プログラムに理工学部生物科学科の学生4名と鈴木英勝教授が参加。高校生と一緒に未利用魚のおいしさや水産資源の大切さを感じ取りました。
12日は、牡鹿半島で狩猟した鹿をいただくプログラムが行われ、庄子真岐ゼミナールの学生がタ方から加わりました。ゼミ生たちは高校生と一緒に鹿肉の下ごしらえなどを行い、バーベキューで交流を深めました。庄子ゼミの取り組みなども紹介し、高校生に石巻市街地のまちあるきについてアドバイスしました。



産学官連携「オランダせんべい鯨大和煮風味」発売 令和6年6月7日(金)

石巻市(官)と本学(学)との連携、株式会社かね久、酒田米菓株式会社、木の屋石巻水産(産)と本学(学)との連携をつないだ『石巻専修大学産学官連携企画商品「オランダせんべい鯨大和煮風味」』が発売されました。
本学では、令和4年度から理工学部生物科学科鈴木英勝教授を中心に、石巻市と連携して石巻市の鯨食文化の継承と地域活性化を目的とした鯨の有効活用研究に取り組んできました。
令和5年度には、KCみやぎ産学共同研究会企画運営業務に採択され、地元企業と一緒に「地域低利用資源」の新たな利・活用方法について検討を開始。令和6年1月に「食のみやぎ応援団SDGs宣言」のパートナー大学として参画し、株式会社かね久(仙台市)、酒田米菓株式会社(山形県酒田市)、木の屋石巻水産(石巻市)との連携による商品開発を行ってきました。



「第2回いしのまき祭り」開催 令和6年10月27日(日)

専修大学神田キャンパス（東京都千代田区）において「令和6年度いしのまき祭り」を開催しました。「いしのまき祭り」は、石巻専修大学と専修大学の学生が協同し、首都圏で宮城県石巻市の魅力を発信するイベントとして令和5年度から開催しています。
当日は、石巻専修大学生・専修大学生それぞれによる企画や石巻焼きそばとカキのホイルバター蒸しの無料ふるまい、特産品販売、石巻川開き祭りで使用した七夕飾り展示などを実施し、多くのお客さまにご来場いただきました。また、齋藤正美石巻市長も駆けつけ「様々な企画をとおして、多くの方に石巻市のファンになっていただきたい」と呼びかけました。



「第101回石巻川開き祭り」に参加 令和6年8月2日(金)～4日(日)

石巻市最大規模のイベントである「石巻川開き祭り」に本学の学生、教職員が参加しました。
北上川を開削し石巻に港を開いた「川村孫兵衛重吉翁」に対する報恩感謝の祭りである「石巻川開き祭り」では、東日本大震災や川で亡くなられた方に対する供養祭、水上競技や陸上での祭典、花火大会などが行われ、多くの方でにぎわいました。
本学学生、教職員のべ250人が「流燈作成ボランティア」、「孫兵衛船競漕」、「縄張神社奉納大縄引き大会」、「一皇子宮神輿担ぎ」、「花火の屑拾いボランティア」、「大漁踊り」にボランティアとして参加し、地域の方と一緒に盛り上がりました。



「竹こもれびナイト2025」 令和7年3月8日(土)

庄子真岐ゼミナールが、石巻市かわまち交流センター(かわべい)において「竹こもれびナイト2025『希望の灯火、百年先も』」を開催しました。
「竹こもれびナイト」は、東日本大震災で亡くなられた方々への鎮魂の想いと魅力的なまちづくりを経て復興し続ける石巻の今を伝える目的で2018年から実施し、今回で7回目。ゼミ生一人ひとりが「竹の灯りが描く、石巻の明るい未来」の願いを込めてさまざまな企画を立案し、準備から運営まですべて行いました。
実施した企画内容は以下のとおり。
●大学生とまちあるき ●ことば探しゲーム ●語り合いサロン
●竹灯ろうづくりワークショップ ●防災竹射的 ●パン焼き体験
●LIVEステージ



金華山「龍神まつり」で担ぎ手として協力 令和6年7月28日(日)

石巻市の離島・金華山黄金山神社龍神まつり・龍(蛇)踊り奉納が行われ、メイン行事の「龍(じゃ)踊り」で本学学生5人が担ぎ手を務め、地元出身の若者と一緒に勇壮な舞いを披露しました。



金華山伝統行事「鹿の角切り」に協力 令和6年10月6日(日)

毎年恒例「鹿の角切り」に学生がボランティアとして参加しました。鹿の角切りは、立派な角を持った雄鹿が人間に危害を加えることがないように、鹿を角切り場に追い出し、白鉢巻に法被姿の勢子が走る鹿の角に十字投縄を投げ掛けて捕獲し、神官が角を切り落とすという伝統ある行事。参加した学生たちは、地域の歴史を学び、住民の方々と交流するという貴重な体験をすることができました。



田代島にて清掃ボランティア活動 令和6年8月8日(木)

経営学部7名と理工学部1名の学生が石巻市の田代島で草取り・清掃活動や参道整備を行いました。田代島は、「猫の島」とも呼ばれ、大漁の守り神として猫を大切にしているため、島内には多くの猫たちが暮らしています。「猫神社」があり近年は、観光地としても注目を集めています。
今回の活動は、田代島の観光客誘致の手始めとして実施。今後は、ICTを活用して猫が暮らしやすい環境を整備し、猫を管理するためのシステムを構築する研究計画を立てています。



「いしのまき政策コンテスト」に7チーム参加 令和6年10月13日(日)

石巻市ささえあいセンターで行われた「令和6年いしのまき政策コンテスト決勝大会」に、本学から7チーム参加しました。本コンテストは、石巻地方に暮らす若者が石巻市に政策アイデアを提言するもので、7月27日(土)にキックオフ、8月25日(土)中間チェックでの報告を経て当日の決勝大会を迎えました。

令和6年度のテーマは「10年後も住みたい石巻はこれだ！～観光で稼げるまちに～」。

参加したチームは以下の通りです。



チーム名	所属
稲葉ゼミ	経営学部 経営学科 稲葉健太郎ゼミナール
石巻で夢見る大学生	経営学部 経営学科 庄子真岐ゼミナール 人間学部 人間文化学科 庄子真岐ゼミナール
キミノマチ	
チーズファミリー	
未来の石巻のリーダーズ	経営学部 経営学科 岡野知子ゼミナール
ツーリズム4(フォー)	経営学部 情報マネジメント学科 中山愛子ゼミナール
石巻専修大学サイクリング愛好会	サイクリング愛好会

「第23回みやぎふるさとCM大賞」応募作品を制作

宮城県内の市区町村を対象とし、30秒で自治体の魅力をPRする「みやぎふるさとCM大賞」(主催:khb東日本放送)。令和5年度(第22回みやぎふるさとCM大賞)に続き、本学学生が石巻市と共同し、石巻市の応募作品を制作しました。

11月23日(土・祝)に行われた審査発表会にも参加し、作品の紹介を通して石巻の魅力を伝えました。



石巻市民食育フェスへ参加 令和6年11月10日(日)

人間学部人間教育学科小玉幸助研究室がマルホンまきあーとテラスで開催された「第11回石巻市民食育健康フェスティバル」で活動報告を行いました。

小玉研究室では、食育をテーマとした「食育プロジェクト」に取り組んでおり、展示ブースでは、プロジェクトの概要、地域企業等(イシノマキ・ファーム、水月堂、石巻市役所)での農業体験や企業見学を通じて学生たちが考案したレシピ4点などを紹介しました。



石巻市立桜坂高等学校×経営学科

石巻市街地まちあるきコース制作

令和6年度、桜坂高等学校商業研究部と庄子真岐ゼミナールが共同で、石巻市の市街地エリアを中心としたまちあるきコースを制作をしました。

令和6年11月5日(火)には、制作したまちあるきコースを実際に歩き、課題を整理しました。



「石巻国際サッカーフェスティバル」に参加 令和6年10月26日(土)・27日(日)

サッカー部の学生が石巻市湊地区コミュニティ広場で開催された「石巻国際サッカーフェスティバル2024」に参加しました。石巻国際サッカーフェスティバルは、石巻に住む様々な方の国籍を超えた交流を目的として2023年から実施されており今回が2回目の開催。本学の人間学部人間文化学科西川慧ゼミナール(文化人類学研究室)も運営に協力しています。

サッカー部員は、石巻サッカー協会(IFA)選抜チームの一員として参加し、漁船や水産加工会社などで働いているインドネシアやベトナム、ミャンマーなどの国籍を持った多くの選手が所属するチームと対戦。サッカーという全世界共通のスポーツを通じて、国籍関係なく交流を深めるきっかけになりました。



マイナビ仙台レディースの試合でサッカー部の学生が協力隊を担当しました

令和6年11月9日(土)

ユアテックスタジアム仙台で開催されたマイナビ仙台レディース対セレッソ大阪ヤンマーレディースの試合で、本学サッカー部の学生4名が担架隊を担当しました。

当日は、「石巻応援DAY」で、石巻市の企業や小中学校、高校などから137名が観戦。キャラクターたちも集まり、石巻市民のパワーで会場が盛り上がりました。

本学は、2024年度サッカー部を新設。競技力向上だけでなく、サッカーを通じた地域貢献活動に取り組む中で、将来的に地域で活躍できる人材を育成することを活動ビジョンに据えており、石巻地域の住民や企業のご協力のもと、地域社会の課題解決に活用できる知識・技能を身につけた人材の育成を目指して活動しています。



硬式野球部が楽天・銀次アンバサダーの野球教室をサポート 令和6年10月26日(土)

硬式野球部の学生6名が石巻市民球場で行われた楽天ゴールデンイーグルスの野球教室に運営ボランティアとして参加しました。本野球教室は、楽天野球団の銀次アンバサダーらが「TOHOKU SMILE ACTION」の活動として開催したもので、学生たちは会場準備や少年野球チームに所属する小学生との捕球練習、銀次アンバサダーのノックサポートなどを行いました。

「TOHOKU SMILE ACTION」とは、楽天ゴールデンイーグルスが「スポーツの力でこどもたちを笑顔に!」をスローガンに掲げ、東北各県での「野球教室」や「学校訪問」などを通して東北のこどもたちに笑顔を届ける活動のことです。



楽天モバイルパーク宮城で石巻市内の高校生と一緒に活動 令和6年9月14日(土)

東北楽天ゴールデンイーグルス1軍公式試合が行われた楽天モバイルパーク宮城で、石巻市内の高等学校3校(石巻市立桜坂高等学校、宮城県石巻商業高等学校、宮城県石巻北高等学校)が共同で出店し、本学学生も参加しました。

当日は、各高校が開発したパンやお菓子などの商品販売や子ども向けのワークショップを企画し、多くの来場者と交流しました。



▶ 地域課題解決に向けた研究を推進

仕組み・体制

本学は、開学時より大学開放センターを整備し、地域の産業や教育文化の振興を図ってきました。
2009(平成21)年4月には、研究面からの支援を強化するため共創研究センターを設置して、並行して研究資金、助成の仕組み等の見直しや充実も進めてきました。
大学開放センターと共創研究センターは連動して、地域の課題解決に向けて活動していきます。

各種研究助成制度

IK地域研究

公益財団法人石巻地域高等教育事業団からの助成金により、地域の文化や学術の振興について研究する制度
【令和6年度採択】

教員名			研究課題
西川 慧	人間学部	准教授	地域課題解決に向けた人材育成のためのジョイント・プログラムの構想と実施
浅沼 大樹	経営学部	教授	実践的プログラミング教育のための教材開発に関する研究

IS奨学研究

石巻信用金庫からの奨学研究費助成金により、石巻地域の産業・経済の振興に寄与する研究課題等について研究する制度
【令和6年度採択】

教員名			研究課題
稲葉 健太郎	経営学部	准教授	石巻地域における「地域同期」形成に向けた取り組み
三橋 勇太	経営学部	講師	石巻市の震災伝承施設を対象とした来訪者の特徴把握を目的とした実証調査
阿部 純	人間学部	助教	英語による石巻地域の情報発信と教育方法に関する予備調査

石巻専修大学研究助成

石巻専修大学における学術研究の振興を図るため、本大学の専任教員が個人又は共同で行う研究に対して、研究費を助成する制度
【令和6年度採択】

教員名			研究課題
阿部 博和	理工学部	准教授	金華山の潮間帯におけるマクロベントス相とその季節変化の把握
横江 信一	人間学部	特任教授	特別活動を中心にした小学校の学級集団形成モデルに関する実践的研究
水野 純	理工学部	教授	水中ドローンの超高機能化の研究
新鶴田 道也	人間学部	助教	理科授業の実験指導力を高める小学校教員養成プログラムの開発

共創研究センタープロジェクト 石巻市からの助成金を活用した研究資金の研究紹介は 25 ページから掲載

地域の賑わい・交流機会の創出

第7回石巻専修大学研究シェアリング・プログラム

本学では、新たな「社会連携」を開発し、育てるための交流と創造の場、賑わい創出を目的として、学術・職種・業界の垣根を越えた幅広いテーマでの情報交換会を行っています。
今年度で7回目の開催となり、今回は3学部から10研究室と2ゼミナールのほか、地域からも5社が出展し来場者と活発な交流が行われました。あわせて高校の研究活動ポスター展示も行われました。
実施日：令和7年2月28日(金)
主 催：石巻専修大学 共創研究センター
後 援：石巻市、東松島市、女川町、登米市、大崎市、宮城県東部地方振興事務所、石巻商工会議所、石巻信用金庫、KC みやぎ推進ネットワーク、石巻地域産学官グループ交流会、三陸河北新報社、石巻日日新聞社（順不同）



共創研究センターシンポジウム

「いしのまきの将来像を考える
～縮小する地方都市における課題と希望とは～」

石巻市との連携事業である共創研究センターの令和5年度研究課題「石巻市将来都市研究」の研究報告として行われ、6名の登壇者が石巻市の現状と将来予想される状況、そしてこれからの地方における「市民の暮らし方」について報告しました。
また、パネルディスカッションでは、市民との活発な意見交換が行われました。



実 施 日：令和7年1月10日(金)

主 催：石巻専修大学 共創研究センター

共 催：石巻市

登 壇 者：(研究代表者) 浅沼大樹 経営学部 教授
(共同研究者) 杉田 博 経営学部 教授
梅山光広 理工学部 教授
中山愛子 経営学部 特任准教授
小松真治 経営学部 助教

参加対象：一般市民、石巻市職員、本学学生・教職員、その他関係者

01

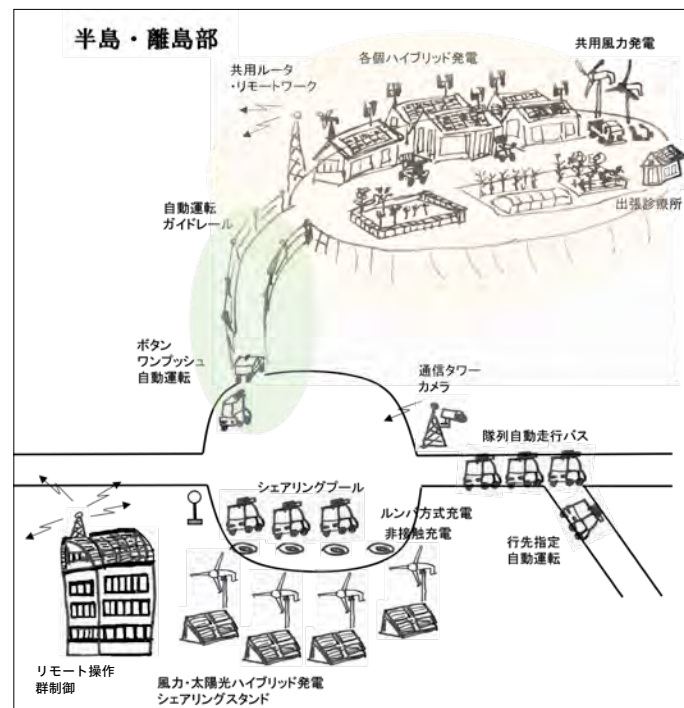
軽自動車改造EVコンバート車の研究

代 表 者 梅山光広 理工学部 教授

研究概要

ハイブリッド自動車の電動モータを再利用して低コストEVコンバート車を開発する。

■研究概略図



諸元

定員	5人
全長	3.395m (+0.293)
全幅	1.475m (-0.015)
全高さ	1.945m (-0.445)
車両重量	650kg (+30)
モータ出力	10kW
バッテリー電圧	48V/200V (+22)
容量	4.8kWh (-1.3)

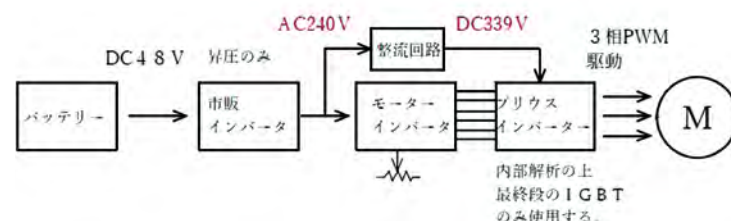
プロジェクト事業の目的・背景、これまでの課題

東日本大震災で被災した牡鹿半島部の高台移転の住宅では、移動手段がなく大きな課題になっている。そこでコミュニティで安価に運用できる中古軽自動車のEVコンバート車を開発し、自活の道筋をつけることを目的としている。

プロジェクト事業の仕組み（原理、構造、形態）

中古軽自動車にハイブリッド車の電動モータを再利用し、48Vバッテリーを使った安価なシステム構成とする。事業として地元自動車整備工場で実施することを想定している。

■研究活動に関する写真



注目ポイント（機能／効果／メリット）

廃車ハイブリッド車の電動モータを再利用することで環境にやさしい。再生可能電力を使うことでエネルギー代も安価にでき、持続可能な地域の移動手段とすることができる。

02

地域創生RPGアプリを活用した郷土理解と地域振興の可能性

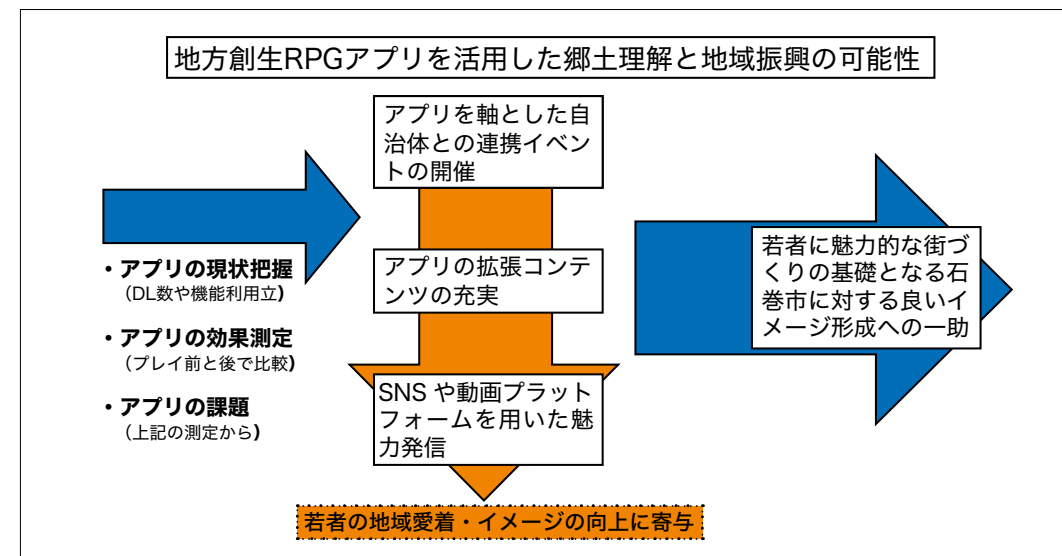
代 表 者 三橋勇太 経営学部 講師

研究分担者 工藤周平 経営学部 教授

研究概要

地域創生 RPG アプリ「キズナファンタジア」を活用した石巻市への愛着および理解の促進。

■研究概略図



プロジェクト事業の目的・背景、これまでの課題

石巻市が開発した地域創生 RPG アプリ「キズナファンタジア」は、郷土理解促進を目的とするが、利用者層や効果の分析が不足している。本研究では、①アプリの教育・社会課題解決への応用可能性を考察、②効果的なターゲット層の把握とプロモーション実施、③観光促進や郷土理解に基づく効果測定を通じた政策提言を目的とする。

プロジェクト事業の仕組み（原理、構造、形態）

①「キズナファンタジア」の地域理解への効果測定調査 → ②アプリを用いた地域・観光復興の効果測定尺度の開発 → ③「キズナファンタジア」の拡張性への対策案 → ⑤「キズナファンタジア」による他地域とのコンテンツの連携、以上の4つのプロセスを経て問題解決を目指す。

■研究活動に関する写真



注目ポイント（機能／効果／メリット）

地域創生 RPG アプリ「キズナファンタジア」が、石巻市へのイメージおよび愛着度、石巻市への理解度に一定の効果があることが本研究で確認された。キズナファンタジアというコンテンツを軸に地域の事業者と連携することで新たなコンテンツの作成およびイベントの開催など様々な取り組みへと展開するだけの伸び代がゲームコンテンツには秘められている。

03

石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の調理特性

代 表 者 鈴木英勝 理工学部 教授
研究分担者 太田尚志 理工学部 教授

研究概要

石巻魚市場の漁獲量と水揚げ金額の増大に繋がる低利用魚・鯨の有効利用法確立を目的とする。

研究概略図



プロジェクト事業の目的・背景、これまでの課題

石巻魚市場に水揚げされる低利用魚・鯨類の 食品への積極的な利用を推進するため、各種調理（煮る、焼く、蒸す、揚げる）後の可食部の性状（色、硬さ、旨味）に関する知見が必要であるが、それらの知見が明らかに不足している。これらの知見があれば、練り物以外の加工食品への普及が拓けると考えられる。

プロジェクト事業の仕組み（原理、構造、形態）

低利用魚種や鯨類に従前以上の価値を見出し、それらを市場に流通させれば、達成すべき目標は遂げられると考えている。研究体制として深海魚、未利用魚、鯨類の採集、研究、並びにその利用に長けた人材で構成され、低利用魚鯨試料の採集と分析から、魚鯨情報の収集、加工・料理までの連携が緊密に取れている体制を作り上げている。

研究活動に関する写真



注目ポイント（機能 / 効果 / メリット）

今回分析を行った未利用魚の中で、カナダダラがタンパク質含有量が比較的高く、脂質含有量が低く、うまみ成分であるグルタミン酸とイノシン酸が高いことから加工品の材料として有望である。

鯨の未利用部位に関しては市役所、企業とコラボし、商品化した。一部次年度に商品化が予定されている。

04

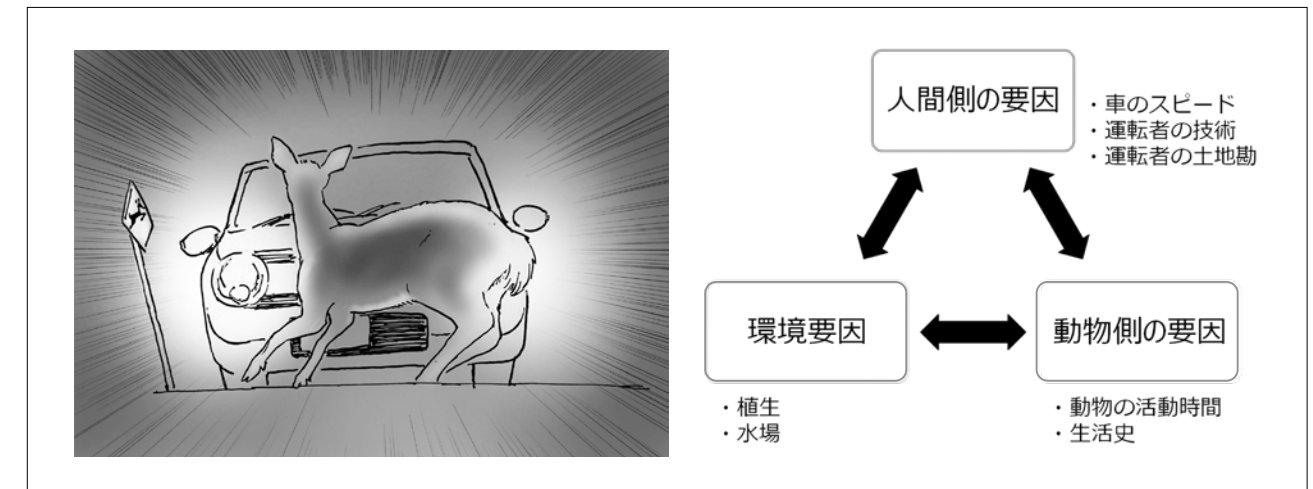
石巻市におけるニホンジカと車の接触事故の発生要因の解明

代 表 者 辻大和 理工学部 准教授
研究分担者 根本智行 理工学部 教授

研究概要

石巻市内で発生するシカと車両の接触事故の現状並びにその発生要因に関する調査を実施。

研究概略図



プロジェクト事業の目的・背景、これまでの課題

石巻ではシカと車両の接触事故が年間 100 件以上起きている。シカの飛び出しは交通事故を誘発し、それに伴う経済的な損失は年間数千万円に上る。しかし事故発生に影響する各種環境要因、ならびに周辺のシカの生息状況に関する情報は乏しいのが現状である。そこで、昨年度から引き続き市内のシカの接触事故に関する情報を収集する。

プロジェクト事業の仕組み（原理、構造、形態）

石巻圏内の道路管理事務所に電話での問い合わせを行い、シカの接触事故に関する情報を収集した。事故頻発地点とコントロール地点をそれぞれ5か所選び、センサーカメラを設置して、シカの行動を評価した。シカの食物の利用可能性を評価するため、植生調査を行った。昨年度のデータも加え、事故発生の要因分析を行った。

研究活動に関する写真



注目ポイント（機能 / 効果 / メリット）

石巻市内のシカと車の接触時期の発生場所・時期を明らかにし、またシカが道路に飛び出す要因を解明することにより、「注意喚起の看板をどの場所に設置するか」「道路周辺の除草をいつ、どこで行うべきか」「どの地域のシカを管理すべきか」といった具体策を提案できる。事故の実態を知ってもらうことで、市民の意識の改革につながる。

05

石巻将来都市研究

代 表 者

浅沼大樹

経営学部

教授

研究分担者

梅山光広

理工学部

教授

杉田博

経営学部

教授

中山愛子

経営学部

特任准教授

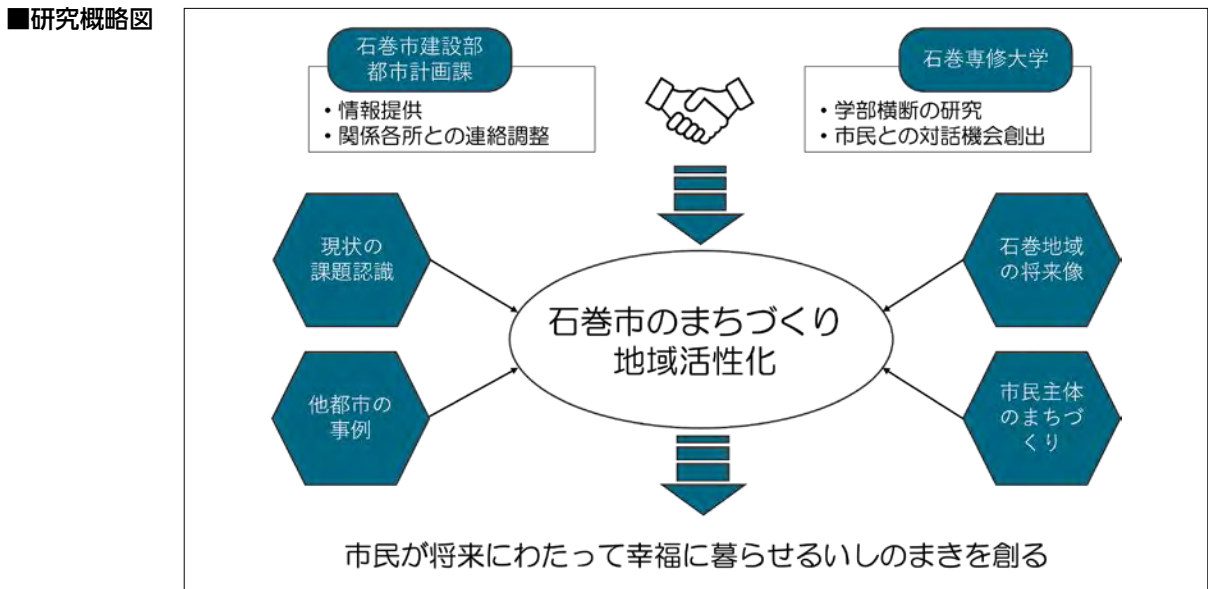
小松真治

経営学部

助教

研究概要

今後縮小していく本市の将来像を模索し、市民の幸福な暮らしのあり方を研究する。



プロジェクト事業の目的・背景、これまでの課題

人口減少や経済の衰退など厳しい状況の中で市民の幸福な暮らしの実現のためには何が必要なのか。人口推移の予測に基づきコンパクトシティの考え方や、モビリティのあり方について、他都市の事例なども取り込みながら考えていく。

プロジェクト事業の仕組み（原理、構造、形態）

本プロジェクトは、石巻市建設部都市計画課をパートナーとして、石巻専修大学経営学部から4名と理工学部から1名の教員メンバーで構成されている。都市計画課は本研究遂行のための情報提供や各所への連絡調整を行い、本学教員はそれぞれの専門分野の知見を元に研究を進めている。

研究活動に関する写真



注目ポイント（機能 / 効果 / メリット）

石巻市の人口は今20年で約6万人減少すると予想されています。このような状況の中で今後も市民が幸せに暮らしていけるまちを作るためには、もはや行政だけに頼ることはできません。市民主体のまちづくりをどうやって実現していくのか、一緒に考えていきましょう。

06

石巻市における子供の身体組成と運動機能との関連性

代 表 者

高橋功祐

人間学部

助教

研究分担者

横江信一

人間学部

特任教授

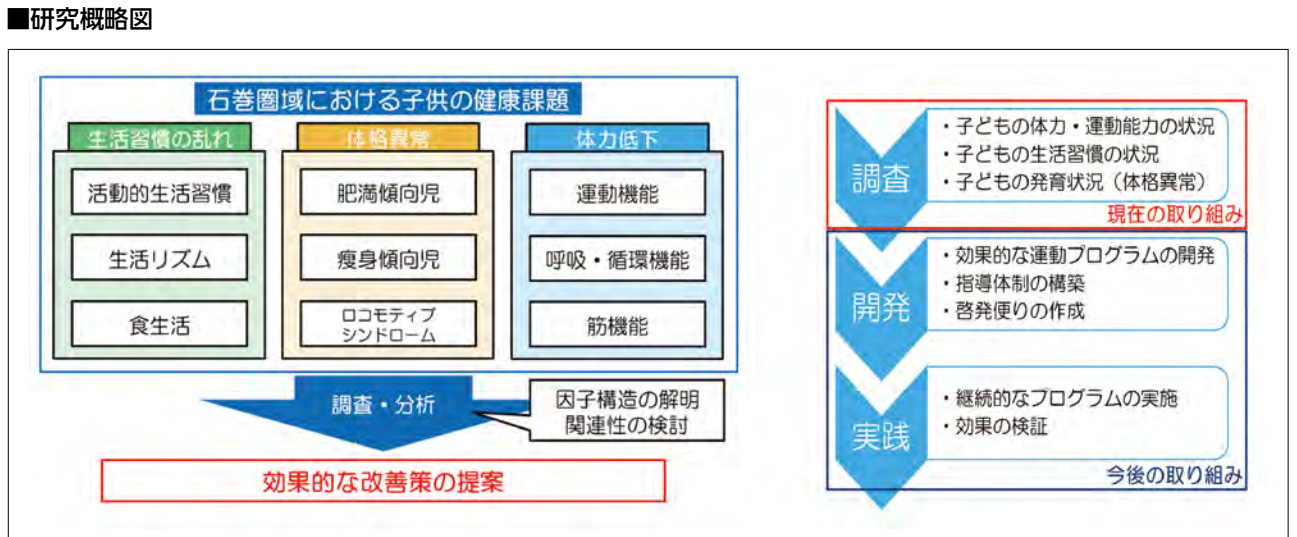
高橋有香里

人間学部

特任准教授

研究概要

石巻市における子供の発育・発達及び生活習慣の現状の把握、課題の整理、改善策の検討。



プロジェクト事業の目的・背景、これまでの課題

石巻市では、子供の体格異常や体力低下が問題視されている。体格異常や生活習慣の乱れが運動機能にどのように影響を与えているのかを検討する調査は実施されておらず、体力低下の原因解明までつなげることができていない。そこで、本事業は、石巻市における子供の身体組成と運動機能との関連性を明らかにすることを目的とする。

プロジェクト事業の仕組み（原理、構造、形態）

①石巻市における子供の身体組成の測定
②石巻市における幼少期の子供の体力・運動能力、生活習慣の調査
③石巻市における幼少期の子供の筋機能の測定

研究活動に関する写真



注目ポイント（機能 / 効果 / メリット）

石巻市における子供の筋機能などの運動機能を測定することで、ロコモ傾向の子供を可視化することができる。また、体力・運動能力や身体組成との関連性を分析することで、子供の運動機能異常の原因解明と効果的な改善策の提案に結び付けることができる。これらは、今後の生活習慣病の罹患率減少への改善策を検討する上で活用することができる。

07

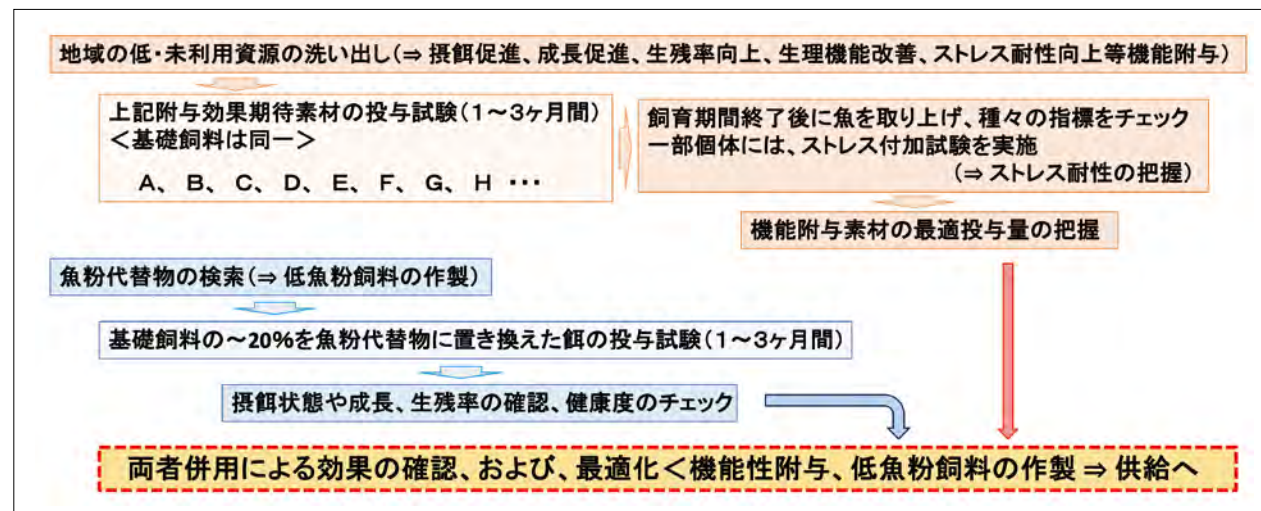
地域資源を活用した低レベル魚粉飼料による ギンザケの成長促進およびストレス耐性強化

代 表 者 角田出 理工学部 教授
研究分担者 宮寄厚 理工学部 教授

研究概要

宮城のギンザケの高品質化、ストレス耐性向上、および、低コスト化を目指した餌の開発を行った。

■研究概略図



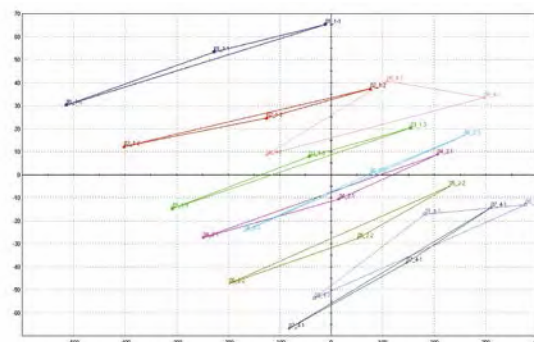
プロジェクト事業の目的・背景、これまでの課題

水温上昇はギンザケ等冷水魚の養殖業者にとって大打撃となる。また、サケ・マス類の養殖は、全国的に増えており、地下水等を用いた通年養殖も始まっている。すなわち、養殖ギンザケ等を巡る(価格・産地)競争は激化しており、養殖魚の成長促進、高品質化、ストレス耐性付与効果を有する、低魚粉(低価格)飼料開発が望まれる。

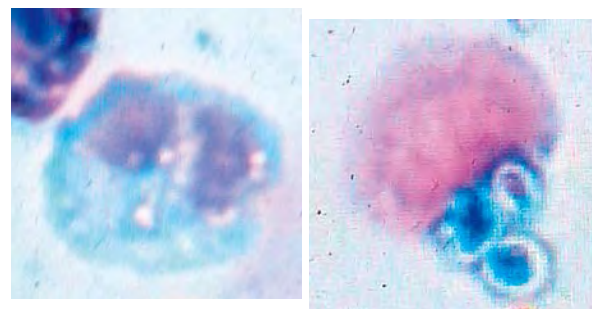
プロジェクト事業の仕組み(原理、構造、形態)

淡水および海水飼育ギンザケに地域の低・未利用資源を投与しつつ、魚の成長、生残、健康度、ストレス耐性、肉質等の向上に資する素材を探す。また、餌コスト削減のため、低タンパク(低魚粉)飼料の作製を進める。そのため、地域の関連分野の企業・生産者等と協働し、目的達成に資するギンザケを含む養殖魚用低タンパク飼料を開発する。

■研究活動に関する写真



味覚センサーによる肉質評価例



異物を処理(貪食)中の顆粒球

注目ポイント(機能/効果/メリット)

養殖魚の摂餌活性、健康度やストレス耐性を高める素材を複数見出した。低タンパク飼料についても、20%程度であれば、直ちに魚粉との代替可能な素材を得た。ただし、最適投与量や肉質への影響が未確定なものも含まれるため、今後、当該課題解決に取り組みたい。加えて、安全な素材を用いた全雌・全雄化(養殖・肉質制御等)に資する性統御方法についても有益な知見を得た。

理工学部 生物科学科

阿部 知顕 教授 理学博士



専門・研究分野

細胞生物学、発生学

研究テーマ

細胞性粘菌野生株の環境適応戦略

出前授業テーマ

- ①粘菌のはなし
- ②細胞性粘菌の世界
- ③バイオアッセイ:生物を使った化学物質の検出の方法

SDGs 目標 3.4

太田 尚志 教授 博士(農学)



専門・研究分野

生物海洋学・海洋浮遊生物学・海洋生態学

研究テーマ

- ①貝毒原因プランクトンの発生・消滅要因に関する研究
- ②ミズクラゲの群集動態に関する研究
- ③有用微細藻類の増殖生理に関する研究

出前授業テーマ

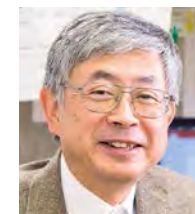
- ①ミズクラゲ大量発生時の仕組み
- ②植物プランクトンはなぜ小さい?
- ③貝毒プランクトン

SDGs 目標 14

卒業研究テーマ

- ①ミズクラゲポリプの遊離刺胞に関する研究
- ② *Dinophysis* 渦鞭毛藻の鉛直分布について

指方 研二 教授 博士(工学)



専門・研究分野

電気化学・電極/溶液界面での電子移動過程

研究テーマ

- ①単結晶電極上での原子レベルでの溶解、析出過程
- ②酸化還元サイクルによる白金単結晶電極の構造変化

出前授業テーマ

- ①人間電池になってみる!
- ②環境にやさしいエネルギーと電池

SDGs 目標 4.7.9

卒業研究テーマ

過酸化水素を含む硫酸水溶液中での Pt(111) 面の電気化学的挙動

柴田 清孝 教授 博士(医学)



専門・研究分野

生化学・分子生物学

研究テーマ

- ①新規抗炎症薬の研究
- ②人工抗体による転写因子 NF-κB の直接阻害に関する研究

出前授業テーマ

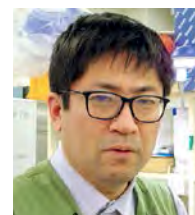
- ①ゲノムってなんだろう?
- ②新しい薬をつくる - ゲノム創薬 -

SDGs 目標 3

卒業研究テーマ

コムギ無細胞タンパク質合成による転写因子 NF-κB タンパク質の調製

鈴木 英勝 教授 博士(理学)



専門・研究分野

水族寄生生物学、海洋生物利用学、水産増殖学

研究テーマ

- ①魚体に含まれるアニサキス幼虫無害化に関する研究
- ②金華山沖合で漁獲される深海魚の有効活用に関する研究
- ③水産廃棄物有効利用に関する研究

出前授業テーマ

- ①怪獣は何を食べているのだろうか?
- ②これ食べても大丈夫?身の回りに潜む寄生虫の話
- ③石巻で食べれる未利用・低利用・深海魚

SDGs 目標 2.11.14

卒業研究テーマ

- ①簡易的な手法によるアニサキス幼虫無害化に関する研究
- ②深海魚・未利用魚からプラスチックフィルムの試作

高橋 計介 教授 博士(農学)



専門・研究分野

水産増殖学・二枚貝生理学

研究テーマ

- ①海産二枚貝の活力診断指標の開発
- ②海産二枚貝養殖海域のモニタリング
- ③海産二枚貝のへい死原因の探究

出前授業テーマ

- ①二枚貝の体を守るしくみ - 基礎と応用 -
- ②アカガイはなぜ赤いか? 血液からみる貝の多様性
- ③カキとノロウイルスは本当に関係あるのか

SDGs 目標 3.4.5.8.9.13.14

卒業研究テーマ

- ①ホタテガイ血リンパの重要な酵素活性の測定
- ②細菌に応答して変化するマガキ血球の数と活性

玉置 仁 教授 博士(工学)

専門・研究分野

環境生態工学、海草藻類学

研究テーマ

- ①潜水による海の自然環境調査
- ②攪乱を受けた藻場生態系の再生と維持管理に関する研究
- ③藻場の物質循環
- ④干潟生態系の発達過程と自律安定性
- ⑤河川掘削土の資源化技術

出前授業テーマ

- ①藻場のはなし
- ②干潟のはなし
- ③災害と水環境

SDGs 目標 13.14



辻 大和 教授 博士(農学)

専門・研究分野

動物生態学、霊長類学

研究テーマ

- ①日本国内の野生動物の生態に関する研究
- ②インドネシア産霊長類の基礎生態に関する研究

出前授業テーマ

- ①身近な自然の生き物のつながりを知る
- ②野生動物の交通事故・ロードキルについて学ぼう
- ③動物の骨を観察してみよう

SDGs 目標 11.15

卒業研究テーマ

- ①アカネズミの個体数変動と食物資源との関連
- ②ロードキルの発生に影響する環境要因の解明



奈良 英利 教授 博士(農学)

専門・研究分野

動物形態学、
免疫学、分子生物学

研究テーマ

- ①骨格筋の生理学的動態に関する研究
 1. 筋肉由来の生理活性物質の働きに関する研究
 2. 筋細胞の分化と老化のメカニズムに関する研究
- ②牡鹿半島のニホンジカに関する研究
 1. DNA から出自を探る
 2. 幼角から得られるロクジョウの免疫系への効果
- ③免疫系の疾患における動態
 1. アレルギーにおけるリンパ球の動向
 2. 腫瘍における白血球のクロストーク



出前授業テーマ

- ①筋肉は忙しい！
- ②牡鹿半島のニホンジカの動向を PCR 法で探ってみた
- ③短期間の体にいい運動とは？—マウスモデルの研究から—

SDGs 目標 3

卒業研究テーマ

- ①ニホンジカの進出を止める防衛線 北上川
- ②短期間の運動が脂質代謝に与える影響

根本 智行 教授 理学博士

専門・研究分野

植物分類学、植物系統学、
植物形態学

研究テーマ

- ①被子植物の分類学・系統学
- ②被子植物の形態学・解剖学
- ③地域の維管束植物相の調査
(シダ植物、裸子植物、被子植物)

出前授業テーマ

- ①花の見方・果実の見方
- ②植物標本の大切さと作り方
- ③秋の七草「萩」の分類学

SDGs 目標 15

卒業研究テーマ

- ①マメ科植物にみられる裂開果の果皮組織の解析
- ②遺伝子によるマメ科コマツナギの在来・集団の識別



前田 敏輝 教授 工学博士

専門・研究分野

物性物理学・ソフトマター物理学

研究テーマ

- ①ハイドロコロイドゲルの圧縮破壊に関する研究
- ②泡構造をもつ食品のレオロジーの研究
- ③コロイド溶液およびゲルの動的光散乱の研究

出前授業テーマ

- ①ソフトマターとは何だろう
- ②ゲルのレオロジー
- ③原子力災害と避難に関する基礎知識

SDGs 目標 4.9.11

卒業研究テーマ

- ①寒天ゲルの圧縮破断特性
- ②食パンのレオロジー特性の面内分布



宮崎 厚 教授 理学博士

専門・研究分野

菌類発牛生理学

研究テーマ

- ①有性生殖である接合反応の解析
- ②系統保存株の有効利用や特性に関する研究
- ③キチン代謝関連遺伝子の解析

出前授業テーマ

- ①ちょっと変わったカビの世界 ②細胞壁の話
- ③菌類を知ることから始めよう！

SDGs 目標 4

卒業研究テーマ

- ①ヒゲカビ胞子の発芽における活性酸素種 / 活性窒素種の役割
- ②ヒゲカビの有性生殖におけるグルタミン酸合成酵素遺伝子の発現解析



柳 明 教授 理学博士

専門・研究分野

細胞生物学・遺伝学・発生生物学

研究テーマ

- ①ゾウリムシの有性生殖を制御する機構
- ②生殖細胞系列の核（小核）と体細胞系列の核（大核）の分化およびその違い
- ③自然界におけるゾウリムシの生殖的隔離

出前授業テーマ

- ①ゾウリムシの話
- ②原生生物に関わる話
- ③生物をつくっている細胞に関する話

SDGs 目標 4.15

卒業研究テーマ

- ①ゾウリムシの大核と小核に特異的な抗原の解析
- ②ゾウリムシにはエサ嗜好性があるのか？



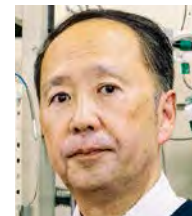
山崎 達也 教授 工学博士

専門・研究分野

触媒化学・無機材料化学・吸着化学・表面科学

研究テーマ

- ①バイオエタノールの有効活用法に関する研究
- ②新規ナノ多孔体の合成と機能性評価
- ③混合気体の高効率吸着分離材の開発



出前授業テーマ

- ①バイオエタノールをどうやって利用するか？
- ②触媒とは—そのはたらきと役割—
- ③ナノメートルサイズの空間をもつ材料の機能

SDGs 目標 2.7.9.13.15

卒業研究テーマ

- ①Hard Template法によって調製したLaAlO₃担体に担持したPt-Rh共存触媒によるバイオエタノール水蒸気質変換反応
- ②ELM-11によるC3炭化水素の吸着特性とゲート効果発現に及ぼすπ電子の効果

依田 清胤 教授 博士(理学)

専門・研究分野

樹木生理生態学

研究テーマ

- ①樹木体内における樹液の動態
- ②木材構造（特に道管）の発達過程

出前授業テーマ

樹木を知る

SDGs 目標 15

卒業研究テーマ

- ①スギの林分構造の解析
- ②タケの成長と分布拡大



阿部 博和 准教授 博士(農学)

専門・研究分野

海洋ベントス学・海洋生態学・
動物系統分類学・進化生物学

研究テーマ

- ①海岸ベントスの個体群・群集のモニタリングと時空間的変動の評価
- ②海産環形動物(多毛類)の系統分類学・DNAバーコーディング
- ③海の外来生物問題

出前授業テーマ

- ①身近な海に住むベントスの暮らし
- ②動物の系統分類と進化
- ③干潟の生物多様性とその保全

SDGs 目標 14

卒業研究テーマ

- ①「海のダンゴムシ」はなぜ丸くなるのか？～コツブムシ類の球体化による捕食回避機能の検証～
- ②すね毛×脚タップ=クロベンケイガニ：形態から考える社会行動の進化



久米 学 准教授
博士(水産科学)



専門・研究分野

魚類進化生態学・応用生態工学

研究テーマ

- ①通し回遊魚の生活史および生態特性の多様性
- ②湧水河川における水温と繁殖形質との関係
- ③人工造成ワンドにおける生物多様性の評価

出前授業テーマ

- ①川で生活するウナギの話
- ②人工構造物と淡水魚
- ③東日本大震災と湧水生態系

SDGs 目標 14

卒業研究テーマ

- ①人工構造物がニホンウナギの生息に与える影響
- ②淡水性イトヨ集団間における繁殖期の多様性

中川 繭 准教授 博士(理学)



専門・研究分野

植物発生遺伝学

研究テーマ

- ①植物の形態形成・
発生の制御システムの研究
- ②植物の発生制御に働く遺伝子の研究
- ③中等教育における生物学実験教材の開発

出前授業テーマ

- ①遺伝子組換え食品とゲノム編集
- ②遺伝子の法則と分子遺伝学をつなぐ実験実習

卒業研究テーマ

- ①シロイヌナズナの茎伸長におけるフィトクロムの働き
- ②花卉の品種改良に向けたシロイヌナズナの変異遺伝子の検討

鳴海 史高 准教授 博士(工学)



専門・研究分野

分子認識化学・有機合成化学

研究テーマ

- ①新規ホスト分子の設計、
合成に関する研究
- ②光学異性体の分離・分析に関する研究

出前授業テーマ

右手の分子と左手の分子

SDGs 目標 3.7.9

渡辺 正芳 准教授 博士(理学)



専門・研究分野

リーマン幾何学・
数理生物学・科学教育

研究テーマ

- ①測度距離空間の幾何学
- ②生命現象の数理モデリング

出前授業テーマ

- ①ピカチュウの寿命?!
～数理のチカラで生物をカガクする～
- ②ぐにゃぐにゃ数学入門
～医療・ファッション・ドラクエに隠された数学～

SDGs 目標 4

卒業研究テーマ

- ①まちぶせるクモの数理モデル：
なぜクモは頭を下にしてエサをまちぶせるのか？
- ②SIRSモデルを用いた新型コロナエンデミック期の解析

理工学部 機械工学科

足立 岳志 教授 博士(工学)



専門・研究分野

材料強度学・破壊力学・材料工学

研究テーマ

- ①セラミックスのき裂治癒の研究
- ②多軸応力を受ける材料についての研究
- ③高温高压水中での応力腐食割れに関する研究

出前授業テーマ

- ①材料と歴史
- ②物が壊れるとは
- ③材料の腐食

SDGs 目標 7.9.12

卒業研究テーマ

セラミック材料のき裂治癒、ステンレス鋼の応力腐食割れ

稲毛 真一 教授 工学博士



専門・研究分野

熱流体、エネルギー、人工知能

研究テーマ

熱流体の数値シミュレーション、
人工知能の開発

出前授業テーマ

- ①地球温暖化の現状と人工知能が果たす役割
- ②品質工学セミナー：良い製品のものづくりの技法

SDGs 目標 4.7.8.9.13

卒業研究テーマ

カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーソリューションに関する研究

梅山 光広 教授 博士(工学)



専門・研究分野

設計工学・機械機能要素・
機械力学・制御・知能機械学・
機械システム

研究テーマ

- ①SDGs将来モビリティ・再生可能エネルギー・自動運転
研究
- ②まちづくり研究・社会問題・課題解決研究
- ③ AI 活用スポーツ健康促進システム研究
- ④燃料電池自動車のシステム研究
- ⑤ハイブリッド車用駆動システムの研究

出前授業テーマ

- ①SDGs未来都市づくり・自動運転モビリティ・再生可能エネ
ルギー
- ②社会問題解決と新価値創造・未来地図づくり
- ③次世代自動車の開発と将来（100年に一度の転換期）

SDGs 目標 1.3.4.7.8.9.10.11.12.13.17

卒業研究テーマ

- ① EV ゴーカートによる自動運転技術の研究
- ②安全な自動運転のためのインフラ目印の研究
- ③風力太陽ハイブリッド発電システムを使った需給バランス
の研究

亀谷 裕敬 教授 博士(工学)



専門・研究分野

動力伝達機構、
空圧機構、騒音振動分析

研究テーマ

- ①圧縮空気の効率的利用法
- ②各種機構原理の効果的な教育方法の開発
- ③乗用鉄道模型を使った機械工学教育の実践

出前授業テーマ

- ①産業革命と機械工学の誕生
- ②機械の基本は4本の棒からはじまる
- ③歯車と動力伝達機構

SDGs 目標 4.7.9.13.17

卒業研究テーマ

- ①小形ボイラの製作と性能計測、分析
- ②欠歯歯車を利用した非線形運動機構の製作と評価

川島 純一 教授 博士(工学)



専門・研究分野

内燃機関・自動車工学

研究テーマ

自動車用動力源の研究

出前授業テーマ

- ①自動車の未来、エンジンの将来
- ②君にもできる！レース用電気自動車の作り方
- ③自動車のハイブリッド・システム

SDGs 目標 7.12.13

卒業研究テーマ

エコラン競技大会用電気自動車の開発

三木 寛之 教授 博士(理学)

専門・研究分野

材料工学・機能性材料学

研究テーマ

機械の構成要素の高機能化による、
機械システムの信頼性と安定性の向上

出前授業テーマ

- ①材料学のすすめ ②身近な機能性材料と機械
③接触の科学～摩擦と潤滑について

SDGs 目標 7.9.12

卒業研究テーマ

手作り省燃費自動車レース用車両の燃費向上技術の開発とレース整備



水野 純 教授 博士(工学)

専門・研究分野

ナノマイクロシステム・ロボット工学

研究テーマ

- ① MEMS (微小電気機械システム)
に関する研究
②ロボットシステムに関する研究

出前授業テーマ

- ①あなたの毎日を支えてくれる大切な MEMS デバイス
②実践的に学ぶロボット工学

SDGs 目標 3.4.9

卒業研究テーマ

- ①高機能水中ドローンに関する研究
② MEMS 型 3 軸デジタル加速度センサを用いたスタビ
ライザの制御に関する研究



高橋 智 准教授 博士(工学)

専門・研究分野

機械材料・材料力学、計算力学

研究テーマ

- ①応力解析と最適材料設計に関する
研究
②環境に優しい生分解性樹脂複合材料に関する研究
③ 3D プリンタの利活用に関する研究

出前授業テーマ

- ①機械が感じるストレス ②デジタルものづくり入門
③スバゲッティータワー

SDGs 目標 4.12.17

卒業研究テーマ

- ①カキ殻粉末を配合した生分解性樹脂複合材料の試作
と特性評価
② 3D プリンタ造形物の強度向上と付加価値の発現



武田 翔 准教授
博士(工学)

専門・研究分野

材料成形、電磁非破壊試験

研究テーマ

- ①摩擦実験による粉末接合ダイナミクスの解明
②非破壊試験による材料接合評価
③非破壊試験による材料劣化評価

出前授業テーマ

- ①疲労破壊と評価手法
②腐食とモニタリング技術概要
③水素利用と課題 (水素脆化)

SDGs 目標 7.9.12

卒業研究テーマ

粉末粒子の接合ダイナミクス解明



理工学部 情報電子工学科

阿部 正英 教授 博士(工学)

専門・研究分野

デジタル信号処理、
画像・映像信号処理

研究テーマ

- ①画像・映像に関する信号処理手法の研究
②デジタル信号に関する研究

出前授業テーマ

- ①古いフィルム映像のデジタル修復
②画像・映像信号処理 ③デジタル信号処理

SDGs 目標 3.4

卒業研究テーマ

MATLAB を用いた画像・映像信号処理



恵原 貴志 教授 博士(理学)

専門・研究分野

半導体物理、固体物理、
セラミックス化学

研究テーマ

- ①金属酸化物薄膜の研究
②太陽光発電材料・再生可能エネルギーに関する研究

出前授業テーマ

- ①爆発の化学と物理
②人間の脳に電流を流す

SDGs 目標 7.9

卒業研究テーマ

ニコチン酸エチルエステルモノヌクレオシドの合成



工藤 すばる 教授 博士(工学)

専門・研究分野

電気回路・超音波エレクトロニクス

研究テーマ

- ①高性能触覚センサに関する研究
②縦ねじり変換器を用いた複合振動子に関する研究
③複合振動子を用いた高性能センサに関する研究

出前授業テーマ

- ①走れコンデンサカー ②不思議な石ころ
③コンピュータシミュレーションの基礎
～表計算ソフトを使いこなそう～

SDGs 目標 9

卒業研究テーマ

- ①縦ねじり変換器を用いた複合振動子の有限要素法解析
②硬さ測定用圧電型振動子の設計指針の検討



佐々木 慶文 教授
博士(情報科学)

専門・研究分野

組込みシステム・計算機制御・
知能情報処理

研究テーマ

組込みシステムによる知能情報処理に関する研究

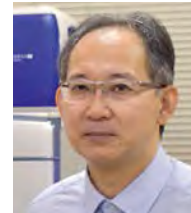
出前授業テーマ

手のひらサイズのコンピュータによる知能情報処理

SDGs 目標 4.9.17

卒業研究テーマ

- ①組込みシステムを用いた深層学習に基づく物体検出シ
ステムの構築と性能評価
② ROS を用いたロボットの自律移動に関する研究



中込 真二 教授 工学博士

専門・研究分野

半導体工学・半導体デバイス・
結晶工学・センサデバイス

研究テーマ

- ①ワイドバンドギャップ半導体・Ga₂O₃ を用いたデバ
イスの研究 (パワー半導体、紫外光センサの研究開発)
②ワイドバンドギャップ半導体・異種材料間の結晶配向性

出前授業テーマ

- ①ワイドバンドギャップ半導体とその応用
②スマートフォンの中の半導体やセンサの話
③半導体の歴史

SDGs 目標 4.7.9

卒業研究テーマ

Ga₂O₃/NiO ヘテロ接合ダイオードの試作と評価



安田 隆 教授 工学博士

専門・研究分野

半導体材料工学

研究テーマ

酸化半導体の物性制御

出前授業テーマ

- ①発光デバイスの世界 ②現代社会を支える半導体材料

SDGs 目標 4.7.9

卒業研究テーマ

- ① NiO 結晶の水素処理効果
②ゾル・ゲルディップ法による ZnCdO/ZnO 積層構造
の作成



木村 健司 准教授 博士(理学)

専門・研究分野

グラフ理論・学習理論・教育工学・
バーチャルリアリティ学

研究テーマ

- ①グラフに関する研究
②学習効果に関する研究
③バーチャルリアリティに関する研究

出前授業テーマ

- ①グラフ理論
②バーチャルリアリティ
③アルゴリズム

SDGs 目標 4.9.17

卒業研究テーマ

- ①バーチャルリアリティを使ったグラフ特性の可視化に
関する研究
②ゲーム AI に関する研究



劉 忠達 准助教
博士(工学)

専門・研究分野

情報セキュリティ、ソフトコンピュー
ティング、知能情報学

研究テーマ

- ①暗号に応用する疑似乱数に関する研究
②未知マルウェア研究

出前授業テーマ

情報セキュリティについて

SDGs 目標 1.3.4.5.8.9.10.11.12.13.14.15.16

卒業研究テーマ

- ① VR を用いた乱数性質の可視化
②アクセス権限による Android 不正アプリの検出



経営学部 経営学科

李 東勲 教授 博士(経営学)

専門・研究分野

マーケティング・流通・流通政策・
中小小売業問題・小売業

研究テーマ

- ①まちづくりにおけるマーケティング思考の導入に関する研究
- ②大競争時代における中小企業マーケティングの研究
- ③日本における水産物および海苔流通に関する研究

出前授業テーマ

- ①地元特産品を活用した新製品開発について
- ②売れる仕組みとは何?

SDGs 目標 4.9.14



岡野 知子 教授 博士(経営学)

専門・研究分野

税務会計論・税法

研究テーマ

- ① AI 時代における税制の変貌と納税者に与える影響
- ② AI と会計の連携教育

出前授業テーマ

- ①税が地域の未来を変える
- ②事業承継と中小企業経営を考える
- ③だれにでもわかる簿記講座
- ④税金の使い道を知って未来の街づくりを考えよう

SDGs 目標 4.11

卒業研究テーマ

- ①補助金の利活用とその諸問題
ー石巻圏域の中小企業を中心としてー
- ②所得税法とジェンダー問題
ー「配偶者控除」と「配偶者特別控除」ー



庄子 真岐 教授 博士(経済学)

専門・研究分野

観光学・地域計画

研究テーマ

- ①持続可能な観光開発に関する研究
- ②持続可能な観光まちづくりに関する研究

出前授業テーマ

- ①観光資源を見つけよう
- ②まちづくりの延長に観光あり
- ③ポストコロナの観光を考える



SDGs 目標 3.4.8.9.11.12.17

卒業研究テーマ

- ①石巻まちなかの自家用車依存脱却における地域コミュニティの再生について
- ②e スポーツによる地域活性化
ー地域密着型 e スポーツチームが地域に与える影響ー

杉田 博 教授 博士(経営経済学)

専門・研究分野

経営学
(経営組織論、経営哲学、経営学史)

研究テーマ

- ①実務家が著した一人称的経営書の解釈学的研究
- ②中小企業における事業承継の研究

出前授業テーマ

- ①経営のトライアングル
- ②中小企業の組織と戦略
- ③経営学はどこから来たのか、どこへ行くのか

SDGs 目標 4.8.11

卒業研究テーマ

- ①経営理念の浸透と経営戦略の関係性
- ②健康サービス分野における新たなビジネスモデルの構築



丸岡 泰 教授 博士(国際関係論)

専門・研究分野

観光研究

研究テーマ

観光・交流を通じた経済振興・
開発

出前授業テーマ

- ①経済発展と観光
- ②災害復興とツーリズム
- ③途上国はなぜ貧しい
- ④国際関係の虚実
- ⑤世間の常識は本当か

SDGs 目標 1.2.3.

卒業研究テーマ

- ①ベトナムのライドシェア
- ②宮城オイスターロードの資源探索



三森 敏正 教授 法学修士

専門・研究分野

会社法、金融商品取引法

研究テーマ

株式会社における役員の法的責任

出前授業テーマ

- ①会社における法律問題
- ②個人情報に関する法律問題

SDGs 目標 9.12.16

卒業研究テーマ

企業不祥事における役員の責任



矢邊 均 教授
修士(法学)

専門・研究分野

人権保障の比較法的研究

出前授業テーマ

- ①目からウロコの法常識「法(ホ～) そうだったのか!」
- ②社会を法と政治から眺める
- ③大学で学ぶことの意義

SDGs 目標 1.3.10.11.16

卒業研究テーマ

スポーツで社会を変えることはできるか



稲葉 健太郎 准教授
博士(スポーツ健康科学)

専門・研究分野

人材マネジメント・
キャリアマネジメント・組織心理学・
経営組織論

研究テーマ

- ①中小企業を対象とした心理的安全性に関する研究
- ②大学生のキャリア教育に関する研究

出前授業テーマ

- ①『良いチーム』って何だろう?
- ②「今日から私もリーダー!？」
自分らしいリーダーシップを発揮しよう!
- ③職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション

SDGs 目標 4.5.8

卒業研究テーマ

身の回りを走るバスドライバーの現状とモチベーション



田村 真介 准教授
博士(経営学)

専門・研究分野

原価計算論、管理会計論

研究テーマ

- ①中小企業の管理会計実務に関する研究
- ②中小企業の経営管理に関する研究

出前授業テーマ

- ①簿記ってどう役立つの?
- ②ビジネスと会計
- ③会計の視点で見ると考える

SDGs 目標 4.8.9

卒業研究テーマ

- ①日本企業と予測型経営
- ②社会福祉法人の経営と資金



菅原 玲 講師
修士(環境科学)

専門・研究分野

環境科学・ライフスタイル・
地場産業

研究テーマ

- ①環境配慮行動と日常のライフスタイルとの関係分析
- ②持続可能な地域の生業(なりわい)と人材育成の研究
- ③伝統工芸と生業(なりわい) 経営研究

出前授業テーマ

- ①地場産業を見に行こう
- ②工芸・手しごと・地域との関係
- ③資源と暮らしの関係
ーライフスタイルは変えられる?ー

SDGs 目標 7.11.12.13.14.15.17

卒業研究テーマ

宮城の地場産業と人材育成についての分析



経営学部 情報マネジメント学科

浅沼 大樹 教授 博士(経済学)

専門・研究分野

経済理論・金融論・地域経済学

研究テーマ

- ①地域活性化における市民の主体性に関する研究
- ②地域とグローバリゼーションの関係に関する研究
- ③「まちづくり」からの脱却

出前授業テーマ

- ①勉強することの意味を勉強する
- ②失敗しないための経済学的思考方法
- ③地元をちょっと熱くする経済学

SDGs 目標 4.11.17

卒業研究テーマ

- ①空き家活用による地域活性化の可能性
- ②子供の居場所の必要性和デジタルデバイド
PITAAAN! の事例



工藤 周平 教授 博士(経営学)

専門・研究分野

経営情報論・経営戦略論

研究テーマ

- ①競争インテリジェンスシステムの開発
- ②現代の戦略的情報システムと競争優位性

出前授業テーマ

- ①企業はいかに競争しているか
- ②企業のビジネスモデルを考える
- ③プログラミングを体験してみよう

SDGs 目標 4.8.9

卒業研究テーマ

- ① AI とビジネスの現状とこれからについて
- ②日本企業の BtoC-EC ビジネスの将来



佐々木 万亀夫 教授 理学博士

専門・研究分野

NPO、情報資源管理、素粒子物理（ニュートリノ）

研究テーマ

- ①中間支援組織の研究
- ②情報科教育に関する研究
- ③ニュートリノ・核子反応の研究



出前授業テーマ

- ① ICT 化の光と影
- ②災害時のNPO(非営利組織)活動の組織化について

SDGs 目標 4.11

卒業研究テーマ

Society 5.0 の未来

関根 慎吾 教授 商学修士

専門・研究分野

財務会計論・簿記論・商業科教育法

研究テーマ

- ①会計基礎理論の研究
- ②教養としての簿記会計教育に関する研究

出前授業テーマ

- ①教養としての商業教育
- ②貨幣を会計学的に考える

SDGs 目標 4.8.9.10.16

卒業研究テーマ

会計情報による企業倒産予測



茂木 克昭 教授
経済学士

専門・研究分野

金融・国際金融

出前授業テーマ

- ①社会における金融の役割
- ② EU の通貨の統合について
- ③現在の金融政策について
- ④なぜ超金融緩和が続くのか
- ⑤為替相場はどのように決まるのか

SDGs 目標 2.4.8



岩浅 巧 准教授
博士(スポーツ健康科学)

専門・研究分野

組織行動・健康科学

研究テーマ

- ①就労者の健康と生産性に寄与する働き方の創出
- ②就労者の安全と健康を守る組織づくり
- ③いきいき職場づくりに向けた職場環境改善

SDGs 目標 3.8



中山 愛子 特任准教授
博士(経済学)

専門・研究分野

経済地理学、地域経済学

研究テーマ

- ①人口減少都市の地域分析
- ②施設のアクセシビリティ分析

出前授業テーマ

- ①自分のまちの特徴を知ろう
- ②これからのまちづくり
- ②経済学の活かし方

SDGs 目標 3.5.8.11



三橋 勇太 講師 博士(情報科学)

専門・研究分野

観光学・情報科学・心理学

研究テーマ

- ①観光実施に至る意識構造の研究
- ②情報技術を用いた観光振興に関する研究
- ③コンテンツを用いた地域振興に関する研究

出前授業テーマ

- ①情報科学を用いた新しい観光政策
- ②視線から学ぶ観光心理・消費者行動
- ③ドローンを用いたプログラミング教育

SDGs 目標 3.4.8.9.11.17

卒業研究テーマ

- ① PR 動画が観光地に与える影響
- ②アニメツーリズムにおける“マンガミュージアム”の役割について



小松 真治 助教 修士(経済学)

専門・研究分野

経済学、地域経済学、経済地理、人口学

研究テーマ

- ①世代別人口移動の要因分析
- ②公共施設の再編が周辺人口の変動に与える影響の分析

出前授業テーマ

- ①日本・石巻市の人口分析
- ② RESAS を使った地域人口分析
- ③ jSTAT MAP を使った人口分析

SDGs 目標 5.11

卒業研究テーマ

石巻市の 65 歳以上人口の分布と生活圏の分析



人間学部 人間文化学科

遠藤 郁子 教授 博士(文学)

専門・研究分野

日本近現代文学

研究テーマ

- ①近現代の小説と詩歌
- ②東日本大震災に関する文学表現

出前授業テーマ

- ①日本文学の現在地

卒業研究テーマ

- ①「銀河鉄道の夜」における鉄道の路線について
- ②新海誠『天気の子』論



大縄 道子 教授 修士(文学)

専門・研究分野

アメリカ文学、英語教育

研究テーマ

- ①アメリカ思春期文学研究
- ②多読を中心とした英語教育に関する研究

出前授業テーマ

- ①英語多読について
- ②世界の英語について
- ③戦後のアメリカ児童思春期文学

SDGs 目標 4.5.10

卒業研究テーマ

- ①アメリカにおける教育格差
ー黒人英語とバイリンガル教育実施の再検討についてー
- ② The Fall of Freddie the Leaf と翻訳『葉っぱのフレディ』の比較考察



根本 泉 教授 文学修士



専門・研究分野

英国ルネサンス詩、英国児童文学、
19世紀米国詩、
近代日本のキリスト教と文学

研究テーマ

- ①エドモンド・スペンサーがC.S.ルイスに与えた思想的・文学的影響についての研究
- ②米国詩人ジョン・グリーンリーフ・ホイットティアの作品とその伝記的背景に関する研究
- ③内村鑑三の自伝的作品についての研究

出前授業テーマ

- ①英米詩を読む——ワーズワースとブライアントを中心に
- ②英国児童文学を読む——『ナルニア国物語』を中心に
- ③英詩と日本語の詩を比較する——リズムと韻を中心に

SDGs 目標 4.16

卒業研究テーマ

- ①『朝びらき丸 東の海へ』におけるユースティスの成長
- ②『アクロイド殺し』におけるポアロとシェパード

長谷川 香子 教授 修士(文学)



専門・研究分野

言語学・応用言語学

研究テーマ

- ①生成文法の生得的言語知識
(普遍文法)と言語獲得
- ②バイリンガルの脳内メカニズムと脳機能の発達
- ③日英語対照による音韻論・形態論・統語論・意味論を通した英語習得の攻略法

SDGs 目標 4.5.10.16

松崎 俊之 教授 文学修士



専門・研究分野

美学・芸術学・哲学

研究テーマ

- ①美的性質理論
- ②美的経験理論 ③音響哲学・美学

出前授業テーマ

- ①日本は西洋からどのように表象されたか
- ②だまし絵の世界 ③音の風景を聴く

SDGs 目標 4

卒業研究テーマ

- ①小説における「語り手」の問題
- ②コンテンポラリー・ダンスと聖なるもの

山内 武巳 教授 博士(体育学)



専門・研究分野

睡眠学・環境生理学・運動生理学

研究テーマ

- ①睡眠研究
- ②自律神経調節に関する研究
- ③健康教育と町づくり
- ④アウトドアスポーツの運動生理学

出前授業テーマ

- ①睡眠の大切さ ②登山の健康効果
- ③シーカヤックの健康効果
- ④登山の教育効果 ⑤シーカヤックの教育効果

SDGs 目標 3.4.11

卒業研究テーマ

- ①座位時間測定の問題紙作成
- ②教室内二酸化炭素濃度調査と認知機能への影響

輪田 直子 教授 博士(文学)



専門・研究分野

中国通俗文芸、現代小説

研究テーマ

清代弾詞の文体と受容に関する研究、および通俗文芸研究史の俯瞰

出前授業テーマ

- ①歴史を「物語る」－三国志の世界
- ②日本人が楽しく学べる中国語
- ③小説に見る現代中国の世相

SDGs 目標 4.5.10

卒業研究テーマ

- ①映画『小さな中国のお針子』論－原作・文革の視点から
- ②知識人であるが故の苦悩について
～中島敦『李陵』における司馬遷の形象～

高橋 幸 准教授 修士(学術)



専門・研究分野

社会学、ジェンダー理論

研究テーマ

ポストフェミニズム期のジェンダー・セクシュアリティ秩序の解明

出前授業テーマ

- ①現代の社会運動を知ろうー
#MeToo, #BlackLivesMatter, 気候正義
- ②セクハラ・パワハラの基準を具体的事例を元に考えるー多様なセクシュアリティ・ジェンダー包摂的な社会に向けて

- ③性別をめぐるアンコンシャス・バイアスとは何か？

SDGs 目標 3.4.5.11.13

卒業研究テーマ

- ①トランスジェンダーを取り巻く社会の問題
- ②現代の嫁姑問題
- ③『少年ジャンプ』30年史から読み解く現代社会

西川 慧 准教授 博士(文学)



専門・研究分野

文化人類学論

研究テーマ

- ①インドネシア・スマトラ島ミナンカバウ社会における親族とイスラーム
- ②現代インドネシア都市中間層における育児と男性性
- ③インドネシアから東アジアへの移住労働者たちの生活史

出前授業テーマ

- ①知られざる!?イスラームの世界とムスリムの生活
- ②文化人類学の誘い～異文化の視点から見る私たち
- ③「多様性の中の統一」～インドネシアの人と文化

SDGs 目標 5.10.11.16

卒業研究テーマ

- ①石巻市雄勝における東日本大震災からの復興と景観
- ②岩手県金ヶ崎町における空家再活用と地域社会

木下 卓弥 講師
博士(教育学)



専門・研究分野

社会教育

研究テーマ

1960年代の農村の地域づくりに向けた学習運動の研究

出前授業テーマ

- ①学校と家庭のそとにある「学び」をさがす
- ②協働・協同を支える学びや地域づくり

SDGs 目標 3.4.10.11

阿部 純 助教
修士(国際文化)



専門・研究分野

日系アメリカ史

研究テーマ

- ①日系アメリカ人戦後補償運動の歴史的展開
- ②冷戦期日本における「リドレス」の再概念化の歴史研究
- ③日本の日系人表象研究

出前授業テーマ

- ①カラーブラインド主義とは何か？
- ②「人種差別」とは何か？—差別の歴史と構造
- ③「模範的少数派」という神話—アメリカの人種構造

SDGs 目標 1.3.10.16

人間学部 人間教育学科

近藤 裕子 教授 芸術学修士



専門・研究分野

作曲・編曲、音楽理論

研究テーマ

- ①作品創作
- ②イタリア在住のアーティストとの協働

出前授業テーマ 昔、子どもだった人たちへ

一次世代に残したい音楽との出会いー

SDGs 目標 4.5.10.13.16

卒業研究テーマ

- 「まんげきょうプロジェクト」
ー世界中の子どもたちの幸せな未来のためにー
- Chapter1 写真展「モノクロとの対話」
Chapter2 アニメーション「まんげきょう」
Chapter3 絵本「まんげきょう」
- ・アニメーションと絵本の制作および出版
 - ・イタリア在住のウクライナ女性写真家との協働による写真展の開催

新福 悦郎 教授
博士(学校教育学)



専門・研究分野

教育実践、人権教育・社会科教育・学校安全

研究テーマ

- ①判決書を活用したいじめ授業の研究
- ②判決書を活用した学校安全の研究
- ③子どもの権利推進の研究

出前授業テーマ

- ①人権と法で深める学校安全
- ②判決書で深める人権教育

SDGs 目標 4.10.16

卒業研究テーマ

- ①東日本大震災における石巻地区の保育所・幼稚園の対応
- ②教育機会確保法施行後の宮城県内におけるフリースクールの実態と現状

高橋 寛人 教授
博士(教育)



専門・研究分野

教育制度学、教育行政学、
教師教育、教育史

研究テーマ

- ①戦後日本の教育改革の研究
- ②現代日本の教育改革の研究
- ③チーム学校

出前授業テーマ

- ①学問・研究とは何か
- ②高校に居場所カフェをつくらう！
- ③スクールロイヤーの現状と課題

SDGs 目標 4.10.16

卒業研究テーマ

新たな教育と教師の未来－EdTech で授業がかわる

永山 貴洋 教授
博士(教育報学)



専門・研究分野

スポーツ心理学・教育心理学

研究テーマ

- ①適応的熟達化に向けた身体技能創造を支援するコーチングモデル構築
- ②学習者の素朴概念に基づく「わざ言語」を利用した運動指導方略の構築

出前授業テーマ

- ①心理学にふれてみよう
- ②「教える」について心理学から考えてみよう
- ③子どもの才能について考えてみよう

SDGs 目標 3.4

卒業研究テーマ

- ①教員養成課程に在籍する大学生の運動遊びに対する認識
- ②児童期における運動・スポーツの楽しさを引き出すコーチング

奥山 勉 特任教授
教育学士



専門・研究分野

算数教育、算数の授業論、
算数経営

研究テーマ

- ①算数教育における主体的・対話的で深い学びの実現に関する実践研究
- ②低学年から割合の考え方を育てる教材研究
- ③算数における幼児教育と小学校教育の接続について

出前授業テーマ

- ①算数嫌いを起こさない指導のあり方
- ②数学的な見方・考え方を発見していく楽しい算数の授業
- ③幼稚園や保育所での数や図形についての遊びについて

SDGs 目標 4.10.16

卒業研究テーマ

- ①算数の学習につまずく要因を探り、改善するための授業のあり方を探る
- ②幼児教育と小学校算数への接続に関する実践研究

横江 信一 特任教授
教育学士



専門・研究分野

総合的な学習の時間、特別活動、
キャリア教育、学級経営、学校運営、
生徒指導

研究テーマ

- ①SDGsの視点に立った総合的な学習の時間の実践研究
- ②特別活動を中心にした小学校の学級集団形成モデルに関する実践的研究
- ③小学校教員の「養成・採用・研修」の一体化に関する研究

出前授業テーマ

- ①不登校やいじめを生まない学級づくり
- ②「ゲーム依存」から子どもを救えるか
- ③信頼関係を築くコミュニケーション力の育て方

SDGs 目標 4.10.16

卒業研究テーマ

- ①居心地のよい学級を目指す学級づくりの実践研究
- ②自己肯定感を高めるための実践研究

小玉 幸助 准教授
博士(医科学)



専門・研究分野

衛生学、公衆衛生学、福祉心理学、
コミュニティ心理学、
特別支援教育、公共経済学

研究テーマ

- ①精神保健
- ②学校保健
- ③スクールカウンセリング研究

出前授業テーマ

- ①精神保健（学校生活に必要な精神保健の知識）
- ②公衆衛生（産業衛生と産業精神保健）
- ③公衆衛生（メンタルヘルス）

SDGs 目標 1.3.4

卒業研究テーマ

- ①医療保育分野における食育活動
- ②重症心身障害児を対象とした音楽療法

山本 雄大 准教授 博士(文学)



専門・研究分野

社会心理学

研究テーマ

- ①偏見と差別の形成および発達過程の研究
- ②偏見と差別の表明過程の研究

出前授業テーマ

- ①差別を抱いてしまう心理過程を考えよう
- ②心理学的なテーマでアンケートを作ろう！

SDGs 目標 10

高橋 有香里 特任准教授
修士(教育学)



専門・研究分野

保育学・子育て支援

研究テーマ

- ①子育て支援に関する実践研究
- ②保育士のコミュニケーション能力育成に関する実践研究
- ③保育における指導計画についての開発研究

出前授業テーマ

- ①子どもも大人も楽しめる絵本の世界
- ②肩の力が抜ける子育てのヒント
- ③赤ちゃんも絵本が大好き（保育の仕事の面白さ）

SDGs 目標 3.4.17

卒業研究テーマ

- ①保護者の望む保護者支援
- ②子どもの最善の利益を守る行動とは

大道 一弘 講師
修士(人間科学)



専門・研究分野

教育心理学（教授学習心理学）

研究テーマ

- ①効果的な学習を支援する教材内容・提示法の研究
- ②活用可能な知識の条件とその教授法の研究
- ③現代に求められるリテラシーとその教授法の研究

出前授業テーマ

- ①知識と学びにまつわる心理学
- ②行動の習慣化はなぜ起こる？

SDGs 目標 4

高橋 功祐 助教 修士(体育学)



専門・研究分野

発育発達学・健康応用科学・
スポーツ科学

研究テーマ

- ①幼少期における体力・運動能力に関する研究
- ②幼少期における生活習慣と健康管理に関する研究
- ③幼少期における身体活動に関する研究

出前授業テーマ

- ①体力・運動能力の測定評価
- ②生活習慣と健康管理
- ③身体組成の測定

SDGs 目標 3.4.17

卒業研究テーマ

- ①野球のバッティング動作の達成度評価
- ②大学生の生活習慣に関する調査研究

高等学校の探究学習・課題研究支援

本学の教員が高等学校を訪問し、課題研究のテーマ選びを支援、探究学習へのアドバイス、課題研究の発表会で指導、講評等を行います。その後、生徒からの質問にも直接お答えします。

また、生徒が来学して、教員の研究室や実験室で活動（体験ラボ、アカデミック・インターンシップ）する、学生や教員と研究活動に関した対話（アカデミック・ミーティング）をするなどの受け入れも行っていきます。

相談申し込みは
こちらから



出前授業等 各種依頼

本学では小・中学校、高等学校、企業、一般市民の方から、様々な依頼を受け付けております。

- 例えば、
- 出前授業をしてほしい
 - 大学見学や職場体験を実施したい
 - 社会人向けのリカレント教育、研修会をしてほしい

依頼は
こちらから



上記
お問合せ先

大学開放センター（事務課地域連携支援係）
〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地
TEL：0225-22-7714 FAX：0225-22-7746

技術相談

地域産業の振興・発展を目指して、一般企業や自治体、専門機関などからの技術相談を随時受け付けています。ご相談内容に応じて最適な研究者を紹介しますので、お気軽にご相談ください。

また、石巻信用金庫や、KC みやぎグループ経由でも相談を受け付けております。

申し込みは
こちらから



お問合せ先

大学開放センター（事務課研究支援係）
〒 986-8580 宮城県石巻市南境新水戸 1 番地
TEL：0225-22-7716 FAX：0225-22-7746



社会知性の開発をめざす

石巻専修大学

大学開放センター 共創研究センター

〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1番地 TEL : 0225-22-7714 Mail : kaiho@isenshu-u.ac.jp

石巻専修大学 HP

